

千葉県立保健医療大学履修規程

(趣旨)

第1条 この規程は、千葉県立保健医療大学学則（以下「学則」という。）第34条第2項、第36条第2項及び第37条ただし書の規定により、学則別表第1に定める授業科目の履修方法及び単位の認定方法その他必要な事項に関し定めるものとする。

(授業科目等)

第2条 授業科目の区分、配当年次、単位数と必修等の別、授業形態、時間数、先修条件、履修方法、進級要件及び卒業要件（以下「授業科目等」という。）は別表のとおりとする。

2 前項の規定にかかわらず、編入学した者の授業科目等は別に定める。

(履修登録)

第3条 学生は、各学期当初の学長が定める期日までに、学長が定める方法により、履修しようとする授業科目の登録を完了しなければならない。

2 学生は、次の授業科目の履修を登録することができない。

- (1) 時間割上、時限が重複している科目
- (2) 時間割上、別の時限でも複数開講している同一の科目
- (3) 既に単位を修得している科目

3 1年間に履修登録できる単位数の上限は44単位とする。ただし、4年次を除く。

なお、栄養学科教職（栄養教諭一種）課程における栄養教諭に関する科目は上限に加えない。

4 期日までに履修登録しなかった場合は単位を修得することができない。

(在籍する学科等以外の授業科目の履修)

第4条 学生は、担当教員が承諾した場合に限り、在籍する学科若しくは専攻の課程以外の授業科目（以下「他学科等授業科目」という。）の履修を申請することができ、学長がこれを許可したときは、当該他学科等授業科目の履修を登録することができる。

2 前項の申請は、別表における講義科目のみを対象とし、演習及び実験・実習科目は対象としない。ただし、担当教員が特に認めた場合はこの限りではない。

3 前2項の規定により履修を登録した他学科等授業科目は、修得した単位を卒業要件となる単位数に算入しない。

4 学生は、本条第1項及び第2項の規定により申請しようとするときは、学長が定める期日までに、担当教員の承諾を得て、他学科等授業科目履修申請書（様式第1号）を学長に提出しなければならない。

(授業の欠席)

第5条 学生は、やむを得ず履修登録した授業を欠席する場合には、欠席届（様式第2号）を担当教員に提出することができる。

2 成績の評価における前項の届出の取扱いは、すべて担当教員の判断によるものとする。

(成績評価及び単位認定等)

第6条 授業科目の成績は、試験結果及び学習態度等を総合的に判断して判定する。

2 成績の評価基準は、次表のとおりとし、合格のS、A、B及びCに限り単位を認定し、授与

する。

評 価	評 点	判 定
S	90 点以上	合 格
A	80 点以上 90 点未満	
B	70 点以上 80 点未満	
C	60 点以上 70 点未満	
F	60 点未満	不 合 格

- 3 学則第 37 条ただし書に規定する別に定める段階評価に適さない授業科目は、学則別表第 1 に規定する社会実習（ボランティア活動）とし、成績の評価基準は、前項の規定にかかわらず、次の表のとおりとし、合格の P に単位を認定し、授与する。

評 価	基 準	判 定
P	単位認定に値する	合 格
F	単位認定に値しない	不 合 格

- 4 不合格となった授業科目は、再履修することができる。

（試験）

第 7 条 試験は、当該授業の開講時期の末に期間を定めて行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、当該授業の担当教員は、必要に応じて随時試験を行うことができる。
- 3 試験は、筆記、口述、レポート提出、実技及び実習等の方法により行う。
- 4 次の各号のいずれかに該当する学生は、試験を受けることができない。
- (1) 履修登録をしていない者
 - (2) 講義及び演習科目の出席時間数が、当該授業時間数の 3 分の 2 に満たない者
 - (3) 実験及び実習科目の出席時間数が、当該授業時間数の 5 分の 4 に満たない者
 - (4) 試験開始時刻に 30 分以上遅刻した者
- 5 前項第 2 号及び第 3 号の規定にかかわらず、当該授業の担当教員が認めた場合は、学生は試験を受けることができる。

（追試験）

第 8 条 学生は、病気その他やむを得ない理由により試験を受けることができなかったときは追試験を願い出、これが認められた場合、1 回に限り追試験を受けることができる。

- 2 前項の規定により追試験を願い出ようとする学生は、原則として当該試験日から起算して 1 週間以内に追試験願（様式第 3 号）に病気の場合にあつては医師の診断書、その他の場合にあつては理由書を添えて、学長に提出しなければならない。

（再試験）

第 9 条 前 2 条の試験の不合格者（試験の欠席者を含む）に対し、担当教員が必要と判断した場合には、当該授業科目の再試験を 1 回に限り行うことができる。

- 2 第 6 条第 2 項の規定にかかわらず、再試験の合格者はすべて、成績評価を C、評点を 60 点

とする。

(不正行為)

第10条 試験において不正行為を行った学生は、その時間以降にその学期に実施する試験すべての受験資格を失う。

(補則)

第11条 この規定に定めるもののほか、GPA制度、授業科目の履修方法及び単位の認定方法等に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

この規程の改正は、令和6年4月1日から施行する。

別表（看護学科 2021 年度以降 入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験実習	
特色科目	体験ゼミナール	1 前	1					○	必修3単位
	千葉県健康づくり	2 後	1				○		
	専門職間の連携活動論	4 後	1				○		
	社会実習（ボランティア活動）	2・3・4			1			○	
一般教養科目	人間理解群	心理学	1・2・3・4 前	2		○			選択 4単位 (※1)
		哲学	1・2・3・4 前	2		○			
		文学	1・2・3・4 前	2		○			
		歴史と文化	1・2・3・4 前	2		○			
		生命倫理	1・2・3・4 後	2		○			
		宗教学	1・2・3・4 後	2		○			
		教育学	1・2・3・4 後	2		○			
		人間関係論	1・2・3・4 前	2		○			
		コミュニケーション理論と実際	1・2・3・4 前	2		○			
		健康スポーツ科学	1・2・3・4 前後	1			○		
		生涯身体運動科学	1・2・3・4 前後	1			○		
	生活と環境群	生活とデザイン	1・2・3・4 後	2		○			選択 6単位 (※2)
		法学(日本国憲法)	1・2・3・4 前	2		○			
		社会学	1・2・3・4 後	2		○			
		文化人類学	1・2・3・4 前	2		○			
		経済学	1・2・3・4 前	2		○			
		国際関係論	1・2・3・4 後	2		○			
		社会福祉学	1・2・3・4 前	1		○			
		国際的な健康課題	1・2・3・4 後	1		○			
		人権・ジェンダー	1・2・3・4 後	2		○			
		科学論	1・2・3・4 前	2		○			
		環境変化と生態	1・2・3・4 後	2		○			
		観察生物学入門	1・2・3・4 前後	2		○			
		生物学	1・2・3・4 前後	2		○			
		物理学	1・2・3・4 前	2		○			
		化学	1・2・3・4 前	2		○			
	情報理解群	統計学	1 後	1			○		必修 2単位
		情報リテラシーⅠ	1 前	1			○		
		情報リテラシーⅡ	1・2・3・4 後	1			○		
		情報倫理	1・2・3・4 後	1		○			
		実践統計学	2・3・4 前	1		○			
	外国語群	英語Ⅰ（講読）	1・2・3・4 前	1			○		必修 2単位 ＋ 選択 2単位
		英語Ⅱ（英会話）	1・2・3・4 前	1			○		
		英語Ⅲ（講読・記述）	1・2・3・4 後	1			○		
		英語Ⅳ（英語コミュニケーション）	1・2・3・4 後	1			○		
		英語Ⅴ（保健医療英語）	2 後	2		○			
		英語Ⅵ（応用英語）	1・2・3・4 後	1			○		
		英語Ⅶ（上級英語）A	2・3・4 後	1		○			
		英語Ⅶ（上級英語）B	2・3・4 後	1		○			

※1 人間理解群における選択科目の履修方法について

「人間関係論」又は「コミュニケーション理論と実際」を含み4単位を選択して履修する。

※2 生活と環境群における選択科目の履修方法について

「文化人類学」「国際関係論」「国際的な健康課題」から1科目及び生物の科目（「観察生物学入門」又は「生物学」）、「物理学」、「化学」のうち2科目を含む6単位以上を選択して履修する。

別表（看護学科 2021 年度以降 入学生用）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	運動生理学総論	2 前		1		○			必修 16 単位 ＋ 選択 3 単位
		生化学総論	2 前	1			○			
		栄養学Ⅰ（基礎）	1 後	1			○			
		栄養学Ⅱ（応用）	1 後		1		○			
		心の健康	1・2・3・4 後			1	○			
		薬理学Ⅰ（総論）	1 後	1			○			
		薬理学Ⅱ（各論）	1 後	1			○			
		病理学Ⅰ（総論）	1 前	1			○			
		病理学Ⅱ（各論）	1 前	1			○			
		微生物学Ⅰ（総論）	1 前	1			○			
		微生物学Ⅱ（各論）	1 前	1			○			
		発達心理学	2 前		1		○			
		臨床心理学	1 後		1			○		
	健康と保健医療システム	健康論	1 前		1		○			
		公衆衛生学Ⅰ（基礎）	1 前	1			○			
		公衆衛生学Ⅱ（応用）	2 後	1			○			
		疫学・保健統計Ⅰ（基礎）	3 前	1			○			
		疫学・保健統計Ⅱ（応用）	3 前	1			○			
		リハビリテーション概論	2 後		1		○			
		救命・救急の理論と実際	2 前	1			○			
		画像診断学	2 後		1		○			
		保健医療福祉論Ⅰ（基礎）	2 後	1			○			
		保健医療福祉論Ⅱ（応用）	2 後	1			○			
		食育論Ⅰ（基礎）	3 前		1		○			
		食育論Ⅱ（応用）	3 前		1		○			
		健康と運動	1 後		1		○			
		家族社会学	1 前		1		○			
		医療経営管理論	3 前		1		○			
		リスクマネジメント論	2 後	1			○			
専門科目	専門基礎科目	人体の構造と機能Ⅰ（総論、外皮・免疫系、消化器系、呼吸器系）	1 前	1			○			【専門科目】 必修 7 7 単位 ＋ 選択 3 単位
		人体の構造と機能Ⅱ（循環器系、腎・泌尿器系、内分泌系、生殖器系）	1 前	1			○			
		人体の構造と機能Ⅲ（造血器系、骨・筋肉系、神経系、感覚器系）	1 後	1			○			
		病態学Ⅰ（内科系疾病論）	2 前	2			○			
		病態学Ⅱ（外科系疾病論）	2 前	2			○			
		病態学Ⅲ（高齢者・精神疾病論）	2 前	1			○			
		臨床検査論	2 前	1			○			
	基礎看護科目	看護学入門	1 前	1			○			
		看護学原論	1 前	1				○		
		看護倫理	2 後	1			○		○	
		看護技術論Ⅰ（生活援助技術）	1 後	2					○	
		看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント技術）	1 後	1					○	

別表（看護学科 2021 年度以降 入学生用）

専門科目	基礎看護科目	看護技術論Ⅲ（検査治療技術）	2 前	2				○		【専門科目】 （再掲） 必修 7.7 単位 ＋ 選択 3 単位
		看護技術論Ⅳ（看護過程展開技術）	2 後	1				○		
		看護技術論Ⅴ（統合技術演習）	2 後	1				○		
		日常生活調整方法論	2 前		1		○			
		看護学入門実習	1 前	2					○	
		基礎看護学実習	2 前	2					○	
	実践看護科目	医療生活支援	臨床看護学概論	2 後	1			○		
			臨床看護学方法論Ⅰ（急性期・がん）	3 前	2			○		
			臨床看護学方法論Ⅱ（慢性期・終末期）	3 前	2			○		
			臨床看護学方法論Ⅲ（臨床看護技術演習）	3 後・4 前	1				○	
			ターミナルケア論	3 前		1		○		
			急性期看護学実習	3 後・4 前	2				○	
			慢性期看護学実習	3 後・4 前	3				○	
		療養生活支援	精神看護学概論	1 後	1			○		
			高齢者・在宅看護学概論	1 後	1			○		
			高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ	2 後	1				○	
			高齢者看護学方法論Ⅱ	3 前	1				○	
			在宅看護学方法論Ⅱ	3 前	1				○	
			精神看護学方法論Ⅰ	2 後	1				○	
			精神看護学方法論Ⅱ	3 前	1				○	
			退院支援論	3 前		1		○		
			高齢者看護学実習	3 後・4 前	3				○	
			在宅看護学実習	3 後・4 前	1				○	
			精神看護学実習	3 後・4 前	2				○	
		健康生活支援	地域看護学概論	2 前	2			○		
			地域看護学方法論Ⅰ	2 後	1			○		
			地域看護学方法論Ⅱ	3 前	2			○		
			地域看護学方法論Ⅲ	3 前	1				○	
			地域看護学実習	3 後・4 前	3				○	
			看護政策論	4 前	1			○		
		育成支援	育成期看護概論	2 前	1			○		
			小児看護学方法論Ⅰ	2 後	1				○	
			小児看護学方法論Ⅱ	3 前	1				○	
			小児地域ケア論	3 前		1		○		
			母性看護学方法論Ⅰ	2 後	1				○	
			母性看護学方法論Ⅱ	3 前	1				○	
			母性看護学実習	3 後・4 前	2				○	
			小児看護学実習	3 後・4 前	2				○	
			助産学概論	3 前		1		○		
			助産診断・技術学Ⅰ	3 前		1		○		
			助産診断・技術学Ⅱ	4 前		2			○	
			助産診断・技術学Ⅲ	4 通		3			○	

別表（看護学科 2021 年度以降 入学生用）

専門科目	実践看護科目	育成支援	助産診断・技術学Ⅳ	4 後		2			○		○ ○ ○ ○	
			助産学実習Ⅰ（産婦ケア体験）	3 後		1						
			助産学実習Ⅱ（継続支援）	4 通		2						
			助産学実習Ⅲ（産婦ケア）	4 通		3						
	発展看護科目		看護管理論	4 前	1			○			○	【専門科目】 （再掲） 必修 7 7 単位 ＋ 選択 3 単位
			災害看護学	3 前	1			○				
			看護キャリア発達論	2 後	1			○				
			看護管理実習	4 前	1							
			総合実習	4 通	3							
			看護研究	4 通	2				○			
			看護学統合	4 後	1				○			
			リーダーシップ論	2 前	1			○				
			国際看護論	2 前		1		○				
			家族看護論	2 後		1		○				

先修条件

【特色科目】

- 1 「千葉県健康づくり」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。
- 2 「社会実習（ボランティア活動）」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。

【一般教養科目】

- 1 「実践統計学」を履修するには「統計学」の単位を修得済みであること。
- 2 「英語Ⅶ(上級英語)A」「英語Ⅶ(上級英語)B」を履修するには「英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、またはⅥ」の選択 2 単位を修得済みであること。

別表（看護学科 2021 年度以降 入学生用）

先修条件

【専門科目】

- 1 下記の実習科目および「看護学統合」を履修するには、表に示す所定の科目の単位を既に修得していること、又は同じ学期に単位の修得が見込まれていること。

配当年次	授業科目の名称	履修に先立って修得しておかなければならない授業科目の名称																																				
		講義科目								演習科目								実習科目																				
		看護学入門	精神看護学概論	臨床看護学概論	育成期看護概論	地域看護学概論	地域看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	高齢者・在宅看護概論	臨床看護学方法論Ⅰ	臨床看護学方法論Ⅱ	看護管理論	看護学原論	看護技術論Ⅰ～Ⅲ	看護技術論Ⅳ・Ⅴ	地域看護学方法論Ⅲ	精神看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ	高齢者看護学方法論Ⅱ	在宅看護学方法論Ⅱ	母性看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	小児看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	臨床看護学方法論Ⅲ	助産診断・技術学Ⅱ	看護学入門実習	基礎看護学実習	急性期看護学実習	慢性期看護学実習	精神看護学実習	在宅看護学実習	地域看護学実習	高齢者看護学実習	母性看護学実習	小児看護学実習	助産学実習Ⅰ	総合実習			
1前	看護学入門実習	○																																				
2前	基礎看護学実習	○	○								○	○												○														
3後～4前	急性期看護学実習			○				○	○				○								○		○	○														
	慢性期看護学実習			○				○	○				○										○	○														
	地域看護学実習					○	○							○	○								○	○														
	精神看護学実習		○											○		○								○	○													
	在宅看護学実習							○						○			○	○						○	○													
	高齢者看護学実習							○						○			○	○						○	○													
	母性看護学実習				○									○						○				○	○													
4前	小児看護学実習				○								○								○			○	○													
	看護管理実習									○																○	○											
	4通	助産学実習Ⅱ																				○												○				
		助産学実習Ⅲ																					○											○				
4後	総合実習																							○:選択する領域の実習														
	看護学統合																									○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		

○：単位を既に修得していること、又は同じ学期に単位の修得が見込まれていること。

別表（看護学科 2021 年度以降 入学生用）

進級要件

以下の要件を満たした者でなければ、3 年次に進級できない。

- 1 1・2 年次に配当された特色科目および保健医療基礎科目の必修科目の単位を修得済みの者。
- 2 1・2 年次に配当された専門科目のうち、専門基礎科目、基礎看護科目の必修科目の単位を修得済みの者。

卒業要件

科目区分	必修科目	選択科目	合 計
特色科目	3 単位	0 単位	3 単位
一般教養科目	4 単位	2 0 単位	2 4 単位
保健医療基礎科目	1 6 単位	3 単位	1 9 単位
専門科目	7 7 単位	3 単位	8 0 単位
合 計	1 0 0 単位	2 6 単位	1 2 6 単位

○ 助産課程に関する特記事項

助産課程選択の場合は、「助産学概論」及び「助産診断・技術学Ⅰ」の計 2 単位を選択必修とするほか、別途、「助産診断・技術学Ⅱ」、「助産診断・技術学Ⅲ」、「助産診断・技術学Ⅳ」及び、「助産学実習Ⅰ（産婦ケア体験）」、「助産学実習Ⅱ（継続支援）」、「助産学実習Ⅲ（産婦ケア）」の計 13 単位が必要である。

○ 養護教諭二種に関する特記事項

「保健師」の免許を基礎資格として「養護教諭二種免許状」を取得する場合、「法学（日本国憲法）」、「健康スポーツ科学」、「生涯身体運動科学」、「英語Ⅴ（保健医療英語）」、「情報リテラシーⅠ」及び「情報リテラシーⅡ」の計 8 単位が必要である。

○ 総合実習と看護学統合に関する特記事項

「総合実習」と「看護学統合」の履修は、卒業に必要な単位の修得が見込まれている必要がある。

別表（看護学科 2019・2020 年度 入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験実習	
特色科目	体験ゼミナール	1 前	1					○	必修3単位
	千葉県の健康づくり	2 後	1				○		
	専門職間の連携活動論	4 後	1				○		
	社会実習（ボランティア活動）	2・3・4			1			○	
一般教養科目	人間理解群	心理学		2		○			選択 4単位 (※1)
		哲学		2		○			
		文学		2		○			
		歴史と文化		2		○			
		生命倫理		2		○			
		宗教学		2		○			
		教育学		2		○			
		人間関係論		2		○			
		コミュニケーション理論と実際		2		○			
		健康スポーツ科学		1			○		
		生涯身体運動科学		1			○		
	生活と環境群	生活とデザイン		2		○			選択 6単位 (※2)
		法学(日本国憲法)		2		○			
		社会学		2		○			
		文化人類学		2		○			
		経済学		2		○			
		国際関係論		2		○			
		社会福祉学		1		○			
		国際的な健康課題		1		○			
		人権・ジェンダー		2		○			
		科学論		2		○			
		環境変化と生態		2		○			
		観察生物学入門		2		○			
		生物学		2		○			
		物理学		2		○			
		化学		2		○			
	情報理解群	統計学		1			○		必修 2単位
		情報リテラシーⅠ	1 前	1			○		
		情報リテラシーⅡ	1・2・3・4 後	1			○		
		情報倫理	1・2・3・4 後	1		○			
		実践統計学	2・3・4 前	1		○			
	外国語群	英語Ⅰ（講読）	1・2・3・4 前	1			○		必修 2単位 ＋ 選択 2単位
		英語Ⅱ（英会話）	1・2・3・4 前	1			○		
		英語Ⅲ（講読・記述）	1・2・3・4 後	1			○		
		英語Ⅳ（英語コミュニケーション）	1・2・3・4 後	1			○		
		英語Ⅴ（保健医療英語）	2 後	2		○			
		英語Ⅵ（応用英語）	1・2・3・4 後	1			○		
		英語Ⅶ（上級英語）A	2・3・4 後	1		○			
		英語Ⅶ（上級英語）B	2・3・4 後	1		○			

※1 人間理解群における選択科目の履修方法について

「人間関係論」又は「コミュニケーション理論と実際」を含み4単位を選択して履修する。

※2 生活と環境群における選択科目の履修方法について

「文化人類学」「国際関係論」「国際的な健康課題」から1科目及び生物の科目（「観察生物学入門」又は「生物学」）、「物理学」、「化学」のうち2科目を含む6単位以上を選択して履修する。

別表（看護学科 2019・2020 年度 入学生用）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	運動生理学総論	2 前		1		○			必修 16 単位 ＋ 選択 4 単位
		生化学総論	2 前	1			○			
		栄養学Ⅰ（基礎）	1 後	1			○			
		栄養学Ⅱ（応用）	1 後		1		○			
		心の健康	1・2・3・4 後			1	○			
		薬理学Ⅰ（総論）	1 後	1			○			
		薬理学Ⅱ（各論）	1 後	1			○			
		病理学Ⅰ（総論）	1 前	1			○			
		病理学Ⅱ（各論）	1 前	1			○			
		微生物学Ⅰ（総論）	1 前	1			○			
		微生物学Ⅱ（各論）	1 前	1			○			
		発達心理学	2 前		1		○			
		臨床心理学	1 後		1			○		
	健康と保健医療システム	健康論	1 前		1		○			
		公衆衛生学Ⅰ（基礎）	1 前	1			○			
		公衆衛生学Ⅱ（応用）	2 後	1			○			
		疫学・保健統計Ⅰ（基礎）	3 前	1			○			
		疫学・保健統計Ⅱ（応用）	3 前	1			○			
		リハビリテーション概論	2 後		1		○			
		救命・救急の理論と実際	2 前	1			○			
		画像診断学	2 後		1		○			
		保健医療福祉論Ⅰ（基礎）	2 後	1			○			
		保健医療福祉論Ⅱ（応用）	2 後	1			○			
		食育論Ⅰ（基礎）	3 前		1		○			
		食育論Ⅱ（応用）	3 前		1		○			
		健康と運動	1 後		1		○			
		家族社会学	1 前		1		○			
		医療経営管理論	3 前		1		○			
		リスクマネジメント論	2 後	1			○			
専門科目	専門基礎科目	人体の構造と機能Ⅰ（総論、外皮・免疫系、消化器系、呼吸器系）	1 前	1			○			【専門科目】 必修 76 単位 ＋ 選択 3 単位
		人体の構造と機能Ⅱ（循環器系、腎・泌尿器系、内分泌系、生殖器系）	1 前	1			○			
		人体の構造と機能Ⅲ（造血器系、骨・筋肉系、神経系、感覚器系）	1 後	1			○			
		病態学Ⅰ（内科系疾病論）	2 前	2			○			
		病態学Ⅱ（外科系疾病論）	2 前	2			○			
		病態学Ⅲ（高齢者・精神疾病論）	2 前	1			○			
		臨床検査論	2 前	1			○			
	基礎看護科目	看護学入門	1 前	1			○			
		看護学原論	1 前	1				○		
		看護倫理	2 後	1			○			
		看護技術論Ⅰ（生活援助技術）	1 後	2				○		
		看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント技術）	1 後	1				○		

別表（看護学科 2019・2020 年度 入学生用）

専門科目	基礎看護科目	看護技術論Ⅲ（検査治療技術）	2 前	2			○		【専門科目】 （再掲） 必修 76 単位 ＋ 選択 3 単位
		看護技術論Ⅳ（看護過程展開技術）	2 後	1			○		
		看護技術論Ⅴ（統合技術演習）	2 後	1			○		
		日常生活調整方法論	2 前		1	○			
		看護学入門実習	1 前	2				○	
		基礎看護学実習	2 前	2				○	
専門科目	医療生活支援	臨床看護学概論	2 後	1		○			
		臨床看護学方法論Ⅰ（急性期・がん）	3 前	2		○			
		臨床看護学方法論Ⅱ（慢性期・終末期）	3 前	2		○			
		臨床看護学方法論Ⅲ（臨床看護技術演習）	3 後・4 前	1			○		
		ターミナルケア論	3 前		1	○			
		急性期看護学実習	3 後・4 前	2				○	
		慢性期看護学実習	3 後・4 前	3				○	
	療養生活支援	精神看護学概論	1 後	1		○			
		高齢者・在宅看護学概論	1 後	1		○			
		高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ	2 後	1			○		
		高齢者看護学方法論Ⅱ	3 前	1			○		
		在宅看護学方法論Ⅱ	3 前	1			○		
		精神看護学方法論Ⅰ	2 後	1			○		
		精神看護学方法論Ⅱ	3 前	1			○		
		退院支援論	3 前		1	○			
		高齢者看護学実習	3 後・4 前	3				○	
		在宅看護学実習	3 後・4 前	1				○	
		精神看護学実習	3 後・4 前	2				○	
	健康生活支援	地域看護学概論	2 前	2		○			
		地域看護学方法論Ⅰ	2 後	1		○			
		地域看護学方法論Ⅱ	3 前	2		○			
		地域看護学方法論Ⅲ	3 前	1			○		
		地域看護学実習	3 後・4 前	3				○	
		看護政策論	4 前		1	○			
	育成支援	育成期看護学概論	2 前	1		○			
		小児看護学方法論Ⅰ	2 後	1			○		
		小児看護学方法論Ⅱ	3 前	1			○		
		小児地域ケア論	3 前		1	○			
		母性看護学方法論Ⅰ	2 後	1			○		
		母性看護学方法論Ⅱ	3 前	1			○		
		母性看護学実習	3 後・4 前	2				○	
		小児看護学実習	3 後・4 前	2				○	
		助産学概論	3 前		1	○			
		助産診断・技術学Ⅰ	3 前		1	○			
		助産診断・技術学Ⅱ	4 前		2		○		
		助産診断・技術学Ⅲ	4 通		2		○		
		助産診断・技術学Ⅳ	4 後		2		○		
		助産学実習Ⅰ（産婦ケア体験）	3 後		1			○	
		助産学実習Ⅱ（継続支援）	4 通		2			○	
		助産学実習Ⅲ（産婦ケア）	4 通		3			○	

別表（看護学科 2019・2020 年度 入学生用）

発展看護科目	看護管理論	4前	1			○			
	災害看護学	3前	1			○			
	看護キャリア発達論	2後	1			○			
	看護管理実習	4前	1						
	総合実習	4通	3					○	
	看護研究	4通	2				○		
	看護学統合	4後	1				○		
	リーダーシップ論	2前	1			○			
	国際看護論	2前		1		○			
	家族看護論	2後		1		○			

先修条件

【特色科目】

- 1 「千葉県の健康づくり」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。
- 2 「社会実習（ボランティア活動）」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。

【一般教養科目】

- 1 「実践統計学」を履修するには「統計学」の単位を修得済みであること。
- 2 「英語Ⅶ(上級英語)A」「英語Ⅶ(上級英語)B」を履修するには「英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、またはⅥ」の選択2単位を修得済みであること。

別表（看護学科 2019・2020 年度 入学生用）

先修条件

【専門科目】

- 1 下記の実習科目および「看護学統合」を履修するには、表に示す所定の科目の単位を既に修得していること、又は同じ学期に単位の修得が見込まれていること。

配当年次	授業科目の名称	履修に先立って修得しておかなければならない授業科目の名称																																	
		講義科目										演習科目										実習科目													
		看護学入門	精神看護学概論	臨床看護学概論	育成期看護概論	地域看護学概論	地域看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	高齢者・在宅看護概論	臨床看護学方法論Ⅰ	臨床看護学方法論Ⅱ	看護管理論	看護学原論	看護技術論Ⅰ～Ⅲ	看護技術論Ⅳ・Ⅴ	地域看護学方法論Ⅲ	精神看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ	高齢者看護学方法論Ⅱ	在宅看護学方法論Ⅱ	母性看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	小児看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	臨床看護学方法論Ⅲ	助産診断・技術学Ⅱ	看護学入門実習	基礎看護学実習	急性期看護学実習	慢性期看護学実習	精神看護学実習	在宅看護学実習	地域看護学実習	高齢者看護学実習	母性看護学実習	小児看護学実習	助産学実習Ⅰ	総合実習
1前	看護学入門実習	○																																	
2前	基礎看護学実習	○	○								○	○												○											
3後～4前	急性期看護学実習			○				○	○				○								○			○	○										
	慢性期看護学実習			○				○	○				○											○	○										
	地域看護学実習					○	○							○	○									○	○										
	精神看護学実習		○											○		○								○	○										
	在宅看護学実習							○						○			○	○						○	○										
	高齢者看護学実習							○						○			○	○						○	○										
	母性看護学実習				○									○						○				○	○										
4前	小児看護学実習				○								○								○			○	○										
	看護管理実習									○																○	○								
4通	助産学実習Ⅱ																					○												○	
	助産学実習Ⅲ																					○												○	
4後	総合実習																							○:選択する領域の実習											
	看護学統合																									○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：単位を既に修得していること、又は同じ学期に単位の修得が見込まれていること。

進級要件

以下の要件を満たした者でなければ、3年次に進級できない。

- 1 1・2年次に配当された特色科目および保健医療基礎科目の必修科目の単位を修得済みの者。
- 2 1・2年次に配当された専門科目のうち、専門基礎科目、基礎看護科目の必修科目の単位を修得済みの者。

卒業要件

科目区分	必修科目	選択科目	合 計
特色科目	3 単位	0 単位	3 単位
一般教養科目	4 単位	2 0 単位	2 4 単位
保健医療基礎科目	1 6 単位	4 単位	2 0 単位
専門科目	7 6 単位	3 単位	7 9 単位
合 計	9 9 単位	2 7 単位	1 2 6 単位

○ 助産課程に関する特記事項

助産課程選択の場合は、「助産学概論」及び「助産診断・技術学Ⅰ」の計2単位を選択必修とするほか、別途、「助産診断・技術学Ⅱ」、「助産診断・技術学Ⅲ」、「助産診断・技術学Ⅳ」及び、「助産学実習Ⅰ（産婦ケア体験）」、「助産学実習Ⅱ（継続支援）」、「助産学実習Ⅲ（産婦ケア）」の計12単位が必要である。

○ 養護教諭二種に関する特記事項

「保健師」の免許を基礎資格として「養護教諭二種免許状」を取得する場合、「法学（日本国憲法）」、「健康スポーツ科学」、「生涯身体運動科学」、「英語Ⅴ（保健医療英語）」、「情報リテラシーⅠ」及び「情報リテラシーⅡ」の計8単位が必要である。

○ 総合実習と看護学統合に関する特記事項

「総合実習」と「看護学統合」の履修は、卒業に必要な単位の修得が見込まれている必要がある。

別表（看護学科 2023 年度以降 編入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
特色科目	体験ゼミナール	3 前	1					○	必修3単位
	千葉県の健康づくり	3 後	1				○		
	専門職間の連携活動論	4 後	1				○		
	社会実習（ボランティア活動）	4			1			○	
一般教養科目	人間理解群	心理学		2		○			選択 4単位 (※1)
		哲学		2		○			
		文学		2		○			
		歴史と文化		2		○			
		生命倫理		2		○			
		宗教学		2		○			
		教育学		2		○			
		人間関係論		2		○			
		コミュニケーション理論と実際		2		○			
		健康スポーツ科学		1			○		
		生涯身体運動科学		1			○		
	生活と環境群	生活とデザイン		2		○			選択 6単位 (※2)
		法学(日本国憲法)		2		○			
		社会学		2		○			
		文化人類学		2		○			
		経済学		2		○			
		国際関係論		2		○			
		社会福祉学		1		○			
		国際的な健康課題		1		○			
		人権・ジェンダー		2		○			
		科学論		2		○			
		環境変化と生態		2		○			
		観察生物学入門		2		○			
		生物学		2		○			
		物理学		2		○			
		化学		2		○			
	情報理解群	統計学		1			○		必修 2単位
		情報リテラシーⅠ		1			○		
		情報リテラシーⅡ		1			○		
		情報倫理		1		○			
		実践統計学		1		○			
	外国語群	英語Ⅰ（講読）		1			○		必修 2単位 ＋ 選択 2単位
		英語Ⅱ（英会話）		1			○		
		英語Ⅲ（講読・記述）		1			○		
		英語Ⅳ（英語コミュニケーション）		1			○		
		英語Ⅴ（保健医療英語）				○			
		英語Ⅵ（応用英語）		1			○		
		英語Ⅶ（上級英語）A		1		○			
		英語Ⅶ（上級英語）B		1		○			

※1 人間理解群における選択科目の履修方法について

「人間関係論」又は「コミュニケーション理論と実際」を含み4単位を選択して履修する。

※2 生活と環境群における選択科目の履修方法について

「文化人類学」「国際関係論」「国際的な健康課題」から1科目及び生物の科目（「観察生物学入門」又は「生物学」）、「物理学」、「化学」のうち2科目を含む6単位以上を選択して履修する。

別表（看護学科 2023 年度以降 編入学生用）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
保健医療基礎科目	人間の心と身体	運動生理学総論	3 前		1		○			必修 16 単位 ＋ 選択 3 単位
		生化学総論	—	1			○			
		栄養学Ⅰ（基礎）	—	1			○			
		栄養学Ⅱ（応用）	3 後		1		○			
		薬理学Ⅰ（総論）	—	1			○			
		薬理学Ⅱ（各論）	—	1			○			
		病理学Ⅰ（総論）	—	1			○			
		病理学Ⅱ（各論）	—	1			○			
		微生物学Ⅰ（総論）	—	1			○			
		微生物学Ⅱ（各論）	—	1			○			
		発達心理学	4 前		1		○			
		臨床心理学	3 後		1			○		
	健康と保健医療システム	健康論	3 前		1		○			
		公衆衛生学Ⅰ（基礎）	—	1			○			
		公衆衛生学Ⅱ（応用）	—	1			○			
		疫学・保健統計Ⅰ（基礎）	3 前	1			○			
		疫学・保健統計Ⅱ（応用）	3 前	1			○			
		リハビリテーション概論	3 後		1		○			
		救命・救急の理論と実際	3 前	1			○			
		画像診断学	3 後		1		○			
		保健医療福祉論Ⅰ（基礎）	3 後	1			○			
		保健医療福祉論Ⅱ（応用）	3 後	1			○			
		食育論Ⅰ（基礎）	3 前		1		○			
		食育論Ⅱ（応用）	3 前		1		○			
		健康と運動	3 後		1		○			
		家族社会学	3 前		1		○			
		医療経営管理論	3 前		1		○			
		リスクマネジメント論	3 後	1			○			
専門科目	専門基礎科目	人体の構造と機能Ⅰ（総論、外皮・免疫系、消化器系、呼吸器系）	—	1			○			【専門科目】 必修 77 単位 ＋ 選択 3 単位
		人体の構造と機能Ⅱ（循環器系、腎・泌尿器系、内分泌系、生殖器系）	—	1			○			
		人体の構造と機能Ⅲ（造血器系、骨・筋肉系、神経系、感覚器系）	—	1			○			
		病態学Ⅰ（内科系疾病論）	—	2			○			
		病態学Ⅱ（外科系疾病論）	—	2			○			
		病態学Ⅲ（高齢者・精神疾病論）	—	1			○			
		臨床検査論	—	1			○			
	基礎看護科目	看護学入門	—	1			○			
		看護学原論	—	1				○		
		看護倫理	3 後	1			○			
		看護技術論Ⅰ（生活援助技術）	—	2				○		
		看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント技術）	—	1				○		

別表（看護学科 2023 年度以降 編入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
専門科目	基礎看護科目	看護技術論Ⅲ（検査治療技術）	—	2			○		【専門科目】 (再掲) 必修 77 単位 + 選択 3 単位
		看護技術論Ⅳ（看護過程展開技術）	—	1			○		
		看護技術論Ⅴ（統合技術演習）	—	1			○		
		日常生活調整方法論	3・4 前		1	○			
		看護学入門実習	—	2				○	
		基礎看護学実習	—	2				○	
	医療生活支援	臨床看護学概論	3 後	1		○			
		臨床看護学方法論Ⅰ（急性期・がん）	—	2		○			
		臨床看護学方法論Ⅱ（慢性期・終末期）	—	2		○			
		臨床看護学方法論Ⅲ（臨床看護技術演習）	—	1			○		
		ターミナルケア論	3・4 前		1	○			
		急性期看護学実習	—	2				○	
		慢性期看護学実習	—	3				○	
	療養生活支援	精神看護学概論	3 後	1		○			
		高齢者・在宅看護学概論	3 後	1		○			
		高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ	—	1			○		
		高齢者看護学方法論Ⅱ	—	1			○		
		在宅看護学方法論Ⅱ	—	1			○		
		精神看護学方法論Ⅰ	—	1			○		
		精神看護学方法論Ⅱ	—	1			○		
		退院支援論	3・4 前		1	○			
		高齢者看護学実習	—	3				○	
		在宅看護学実習	—	1				○	
		精神看護学実習	—	2				○	
	健康生活支援	地域看護学概論	3 前	2		○			
		地域看護学方法論Ⅰ	3 後	1		○			
		地域看護学方法論Ⅱ	3 前	2		○			
		地域看護学方法論Ⅲ	3 前	1			○		
		地域看護学実習	3 後	3				○	
		看護政策論	3・4 前	1		○			
	育成支援	育成期看護概論	3 前	1		○			
		小児看護学方法論Ⅰ	—	1			○		
		小児看護学方法論Ⅱ	—	1			○		
		小児地域ケア論	3・4 前		1	○			
		母性看護学方法論Ⅰ	—	1			○		
		母性看護学方法論Ⅱ	—	1			○		
		母性看護学実習	—	2				○	
		小児看護学実習	—	2				○	
		助産学概論	3 前		1	○			
		助産診断・技術学Ⅰ	3 前		1	○			

別表（看護学科 2023 年度以降 編入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
専門科目	看護管理論	4 前	1			○			【専門科目】 (再掲) 必修 77 単位 + 選択 3 単位
	災害看護学	3 前	1			○			
	看護キャリア発達論	3 後	1			○			
	看護管理実習	4 前	1					○	
	総合実習	4 通	3					○	
	看護研究	4 通	2				○		
	看護学統合	4 後	1				○		
	リーダーシップ論	3・4 前	1			○			
	国際看護論	3 前		1		○			
	家族看護論	3 後		1		○			

(看護学科 2023 年度以降 編入学生用)

【特色科目】

- 1 「千葉県の健康づくり」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。
- 2 「専門職間の関係活動論」を履修するには「体験ゼミナール」、「千葉県の健康づくり」の単位を修得済みであること。
- 3 「社会実習（ボランティア活動）」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。

【一般教養科目】

- 1 「実践統計学」を履修するには「統計学」の単位を修得済みであること。
- 2 「英語Ⅶ(上級英語)A」「英語Ⅶ(上級英語)B」を履修するには「英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、またはⅥ」の選択 2 単位を修得済みであること。

別表（看護学科 2023 年度以降 編入学生用）

先修条件

【専門科目】

1 下記の実習科目および「看護学統合」を履修するには、表に示す所定の科目の単位を既に修得していること、又は同じ学期に単位の修得が見込まれていること。

配当 年次	授業科目の名称	履修に先立って修得しておかなければならない 授業科目の名称																																					
		講義科目								演習科目								実習科目																					
		看護学入門	精神看護学概論	臨床看護学概論	育成期看護概論	地域看護学概論	地域看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	高齢者・在宅看護概論	臨床看護学方法論Ⅰ	臨床看護学方法論Ⅱ	看護管理論	看護学原論	看護技術論Ⅰ～Ⅲ	看護技術論Ⅳ・Ⅴ	地域看護学方法論Ⅲ	精神看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ	高齢者看護学方法論Ⅱ	在宅看護学方法論Ⅱ	母性看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	小児看護学方法論Ⅰ・Ⅱ	臨床看護学方法論Ⅲ	助産診断・技術学Ⅱ	看護学入門実習	基礎看護学実習	急性期看護学実習	慢性期看護学実習	精神看護学実習	在宅看護学実習	地域看護学実習	高齢者看護学実習	母性看護学実習	小児看護学実習	助産学実習Ⅰ	総合実習				
1前	看護学入門実習	○																																					
2前	基礎看護学実習	○	○								○	○												○															
3後 ～ 4前	急性期看護学実習			○				○	○				○								○		○	○															
	慢性期看護学実習			○					○				○										○	○															
	地域看護学実習					○	○						○	○									○	○															
	精神看護学実習		○										○		○								○	○															
	在宅看護学実習						○						○			○		○					○	○															
	高齢者看護学実習							○						○			○	○						○	○														
	母性看護学実習				○									○					○					○	○														
	小児看護学実習				○									○						○				○	○														
4前	看護管理実習								○																○	○													
4通	助産学実習Ⅱ																					○											○						
	助産学実習Ⅲ																					○											○						
4後	総合実習看護学統合																							○:選択する領域の実習															○

○：単位を既に修得していること、又は同じ学期に単位の修得が見込まれていること。

別表（看護学科 2023 年度以降 編入学生用）

卒業要件

科目区分	必修科目	選択科目	合 計
特色科目	3 単位	0 単位	3 単位
一般教養科目	4 単位	20 単位	24 単位
保健医療基礎科目	16 単位	3 単位	19 単位
専門科目	77 単位	3 単位	80 単位
合 計	100 単位	26 単位	126 単位

○ 養護教諭二種に関する特記事項

「保健師」の免許を基礎資格として「養護教諭二種免許状」を取得する場合、「法学（日本国憲法）」、「健康スポーツ科学」、「生涯身体運動科学」、「英語Ⅴ（保健医療英語）」、「情報リテラシーⅠ」及び「情報リテラシーⅡ」の計 8 単位が必要である。

別表（栄養学科 2019 年度以降入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習			
特色科目	体験ゼミナール	1 前	1					○	45	必修 3 単位	
	千葉県の健康づくり	2 後	1				○		30		
	専門職間の連携活動論	4 後	1				○		30		
	社会実習（ボランティア活動）	2・3・4			1			○	45		
一般教養科目	人間理解群	心理学	1・2・3・4 前		2		○		30	必修 2 単位 ＋ 選択 4 単位 このうち b から 1 科目以上選択	
		哲学	1・2・3・4 前		2		○		30		
		文学	1・2・3・4 前		2		○		30		
		歴史と文化	1・2・3・4 前		2		○		30		
		生命倫理	1・2・3・4 後	2			○		30		
		宗教学	1・2・3・4 後		2		○		30		
		教育学	1・2・3・4 前		2		○		30		
		人間関係論 b	1・2・3・4 前		2		○		30		
		コミュニケーション理論と実際 b	1・2・3・4 前		2		○		30		
		健康スポーツ科学	1・2・3・4 前後		1			○	30		
		生涯身体運動科学	1・2・3・4 前後		1			○	30		
	生活と環境群	生活とデザイン	1・2・3・4 後		2		○		30	選択 6 単位 このうち ※から 1 科目以上選択 #から 1 科目以上選択	
		法学（日本国憲法）	1・2・3・4 前		2		○		30		
		社会学※	1・2・3・4 後		2		○		30		
		文化人類学	1・2・3・4 前		2		○		30		
		経済学	1・2・3・4 前		2		○		30		
		国際関係論※	1・2・3・4 後		2		○		30		
		社会福祉学※	1・2・3・4 前		1		○		15		
		国際的な健康課題※	1・2・3・4 後		1		○		15		
		人権・ジェンダー	1・2・3・4 後		2		○		30		
		科学論	1・2・3・4 前		2		○		30		
		環境変化と生態	1・2・3・4 後		2		○		30		
		観察生物学入門	1・2・3・4 前後		2		○		30		
		生物学 #	1・2・3・4 前後		2		○		30		
		物理学 #	1・2・3・4 前		2		○		30		
		化学 #	1・2・3・4 前		2		○		30		
	情報理解群	統計学	1・2・3・4 後	1				○	30	必修 2 単位	
		情報リテラシー I	1・2・3・4 前	1				○	30		
		情報リテラシー II	1・2・3・4 後		1			○	30		
		情報倫理	1・2・3・4 後		1		○		15		
		実践統計学	2・3・4 前		1		○		15		
	外国語群	英語 I（講読）	1・2・3・4 前		1			○	30	必修 2 単位 ＋ 選択 2 単位	
		英語 II（英会話）	1・2・3・4 前		1			○	30		
		英語 III（講読・記述）	1・2・3・4 後		1			○	30		
		英語 IV（英語コミュニケーション）	1・2・3・4 後		1			○	30		
		英語 V（保健医療英語）	2 前	2			○		30		
		英語 VI（応用英語）	1・2・3・4 後		1			○	30		
		英語 VII（上級英語）A	2・3・4 後		1		○		15		
		英語 VII（上級英語）B	2・3・4 後		1		○		15		

別表（栄養学科 2019 年度以降入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	運動生理学総論		1		○			15	必修 10 単位 ＋ 選択 4 単位
		生化学総論			1	○			15	
		栄養学Ⅰ（基礎）			1	○			15	
		栄養学Ⅱ（応用）			1	○			15	
		心の健康		1		○			15	
		薬理学Ⅰ（総論）	1 後			○			15	
		薬理学Ⅱ（各論）	1 後			○			15	
		病理学Ⅰ（総論）	1 前			○			15	
		病理学Ⅱ（各論）	1 前			○			15	
		微生物学Ⅰ（総論）		1		○			15	
		微生物学Ⅱ（各論）		1		○			15	
		発達心理学		1		○			15	
		臨床心理学		1			○		30	
	健康と保健医療システム	健康論		1		○			15	
		公衆衛生学Ⅰ（基礎）	1			○			15	
		公衆衛生学Ⅱ（応用）	1			○			15	
		疫学・保健統計Ⅰ（基礎）	1			○			15	
		疫学・保健統計Ⅱ（応用）	1			○			15	
		リハビリテーション概論		1		○			15	
		救命・救急の理論と実際		1		○			15	
		画像診断学		1		○			15	
		保健医療福祉論Ⅰ（基礎）	1			○			15	
		保健医療福祉論Ⅱ（応用）	1			○			15	
		食育論Ⅰ（基礎）		1		○			15	
		食育論Ⅱ（応用）		1		○			15	
		健康と運動		1		○			15	
		家族社会学		1		○			15	
		医療経営管理論		1		○			15	
		リスクマネジメント論		1		○			15	
専門科目	専門基礎科目	管理栄養士導入教育	1 前	1		○			15	【専門科目】 必修 78 単位 ＋ 選択 7 単位
		解剖生理学Ⅰ	1 前	2		○			30	
		解剖学実験	1 後	1				○	45	
		解剖生理学Ⅱ	1 後	2		○			30	
		生理学実験	2 前	1				○	45	
		生化学	1 前	2		○			30	
		栄養生化学	1 後	2		○			30	
		生化学実験	2 前	1				○	45	
		疾病論	2 前	2		○			30	
		高齢者医療論	3・4 後		1	○			15	
		食品学各論	1 前	2		○			30	
		食品学実験	1 後	1				○	45	
		食品学総論	1 前	2		○			30	
		食品化学実験	1 後	1				○	45	
		理化学概論	1 前		1	○			15	

別表（栄養学科 2019 年度以降入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
専門科目	専門基礎科目	食品衛生学	1 後	2		○			30	【専門科目】 (再掲) 必修 7 8 単位 + 選択 7 単位
		食品衛生学実験	2 前	1				○	45	
		食品加工学	2 前	1		○			15	
		食品加工学実習	2 後	1				○	45	
		食品微生物学	3・4 後		1	○			15	
		食事設計と調理	1 前	2		○			30	
		食事設計と調理実習	2 前	1				○	45	
		調理実習	1 後	1				○	45	
		調理科学実験	1 前	1				○	45	
	学 栄養 基礎	基礎栄養学	1 後	2		○			30	
		基礎栄養学実習	2 後	1				○	45	
	応用栄養学	応用栄養学Ⅰ	2 前	2		○			30	
		応用栄養学Ⅱ	2 後	2		○			30	
		応用栄養学Ⅲ	3 前	2		○			30	
		応用栄養学実習	3 前	1				○	45	
		スポーツ栄養学	3・4 後		1	○			15	
	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	2 後	2		○			30	
		栄養教育論Ⅱ	3 前	2		○			30	
		栄養教育論実習	3 前	1				○	45	
		栄養教育手法論	3 前	2		○			30	
	臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	2 前	2		○			30	
		臨床栄養学Ⅱ	2 後	2		○			30	
		臨床栄養学実習	2 後	1				○	45	
		栄養ケアマネジメント論	3 前	2		○			30	
		栄養ケアマネジメント論実習	3 前	1				○	45	
		臨床検査学	2 前	2		○			30	
		在宅栄養支援論	3・4 後		1	○			15	
		障害者栄養支援論	3・4 後		1	○			15	
	公衆栄養学	公衆栄養学Ⅰ	2 後	2		○			30	
		公衆栄養学Ⅱ	3 前	2		○			30	
		公衆栄養学実習	3 前	1				○	45	
		国際栄養学	3・4 後		1	○			15	
	管 給食経営 理 論	給食経営管理論Ⅰ	2 前	2		○			30	
		給食経営管理論Ⅱ	2 後	2		○			30	
		給食経営管理実習	3 前	2				○	90	
		フードマネジメント論	3・4 後		1	○			15	
	演習 総合	総合演習	4 前	1			○		30	
		栄養統計学	3 後	1		○			15	
		管理栄養士特別演習	4 通		2		○		60	
	研究	卒業研究	4 通	2			○		60	
	臨地実習	臨床栄養臨地実習	3 通	2				○	90	
		給食経営管理臨地実習	3 通	2				○	90	
		公衆栄養臨地実習	3 通		1			○	45	

別表（栄養学科 2019 年度以降入学生用）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
専門科目	臨地実習	栄養管理臨地実習	4 通		1				○	45	【専門科目】 （再掲） 必修 7 8 単位 ＋ 選択 7 単位
		事前指導	3 通	1				○		30	
		事後指導	3 通	1				○		30	

別表（栄養学科 2019 年度以降入学生用）

先修条件

【特色科目】

- 1 「千葉県の健康づくり」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。
- 2 「社会実習（ボランティア活動）」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。

【一般教養科目】

- 1 「実践統計学」を履修するには「統計学」の単位を修得済みであること。
- 2 「英語Ⅶ(上級英語)A」、「英語Ⅶ(上級英語) B」を履修するには「英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、またはⅥ」の選択 2 単位を修得済みであること。

【専門科目】

- 1 「臨床栄養学実習」を履修するには、「臨床栄養学Ⅰ」の単位を修得済みであり、「臨床栄養学Ⅱ」の単位は修得見込みであること。
- 2 「公衆栄養学実習」を履修するには、「公衆栄養学Ⅱ」の単位を修得見込みであること。
- 3 「臨床栄養臨地実習」、「給食経営管理臨地実習」、「公衆栄養臨地実習」、「事前指導」及び「事後指導」を履修するには、3 年前期に配当された必修の専門科目の単位を修得見込みであること。
- 4 「栄養教諭教育実習」及び「栄養教諭教育実習：事前・事後指導」を履修するには、管理栄養士課程の「臨床栄養臨地実習」及び「給食経営管理臨地実習」を単位修得済みであり、3 年次終了までに配当された教職課程の全科目を単位修得済みであること。

進級要件

以下の要件を満たした者でなければ、3 年次に進級できない。

- 1 1・2 年次に配当された特色科目および保健医療基礎科目の必修科目の単位を修得済みの者。
- 2 1・2 年次に配当された専門科目の必修科目の単位を修得済みの者。

卒業要件

科目区分	必修科目	選択科目	合計
特色科目	3 単位	0 単位	3 単位
一般教養科目	6 単位	1 8 単位	2 4 単位
保健医療基礎科目	1 0 単位	4 単位	1 4 単位
専門科目	7 8 単位	7 単位	8 5 単位
合 計	9 7 単位	2 9 単位	1 2 6 単位

別表（栄養学科 2019 年度以降入学生用）

教職（栄養教諭一種）課程選択

栄養教諭一種免許取得希望者は、下表に指定する一般教養科目を含む卒業要件の 126 単位のほか、栄養教諭に関する科目を履修し、その単位を取得しなければならない。卒業時の取得単位数は 149 単位とする。

栄養教諭一種免許取得希望者の履修内容は次のとおりである。

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数	時間数	履修方法等
一般教養科目	理人 解群 間	健康スポーツ科学（再掲）	1・2・3 前後	1	30	
		生涯身体運動科学（再掲）	1・2・3 前後	1	30	
	環生 境活 と	法学（日本国憲法）（再掲）	1・2・3 前	2	30	
	理情 解群 報	情報リテラシーⅠ（再掲）	1・2・3 前	1	30	
		情報リテラシーⅡ（再掲）	1・2・3 後	1	30	
	外国 語群	英語Ⅱ（英会話）（再掲）	1・2・3 前	1	30	3 科目のうち 2 単位を 選択必修とする
		英語Ⅳ（英語コミュニケーション） （再掲）	1・2・3 後	1	30	
		英語Ⅵ（応用英語）（再掲）	1・2・3 後	1	30	
栄養教諭に関する科目	栄養に係る教育 に関する科目	食生活教育論	3 前	2	30	
		学校栄養教育論	3 後	2	30	
	教育の基礎的理解に関する 科目	教職論	1 後	2	30	
		教育学概論	2 後	1	15	
		教育心理	2 前	2	30	
		教育制度論	2 後	1	15	
		カリキュラム論	2 前	1	15	
		特別支援教育論	3 前	1	15	
	道徳、総合的な学習の時間等の内容及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法と技術	3 前	2	30	
		道徳・総合的な学習・特別活動論	2 前	1	15	
		生徒指導論	3 前	1	15	
		教育相談	3 後	2	30	
	教育実践に関する科目	教職実践演習（栄養教諭）	4 後	2	30	
		栄養教諭教育実習：事前・事後指導	4 通	1	45	
		栄養教諭教育実習	4 通	2	90	

別表（栄養学科 2019 年度以降入学生用）

食品衛生監視員及び食品衛生管理者

2019 年度入学生から、栄養学科の課程を修了することで食品衛生監視員及び食品衛生管理者の任用資格を取得することができる。

なお、法令に定める科目に対応する、本学の授業科目は下表のとおり。

食品衛生法施行規則別表第 14 及び第 15 に定める学科、科目名

区分	規定科目	規定科目に対応する 本学授業科目名	配当 年次	選択別		単位数
				必修	選択	
A 群 化学関係	有機化学 無機化学	化学	1・2・3・4 前		2	2
	分析化学	食品化学実験	1 後	1		1
		理化学概論	1 前		1	1
		小計		1	3	4
B 群 生物化学関係	生物化学	生化学	1 前	2		2
		栄養生化学	1 後	2		2
		生化学実験	2 前	1		1
	食品化学	食品学総論	1 前	2		2
		食品学各論	1 前	2		2
		食品学実験	1 後	1		1
	生理学	解剖生理学Ⅱ	1 後	2		2
		生理学実験	2 前	1		1
		小計		13	0	13
C 群 微生物学関係	食品微生物学	食品微生物学	3・4 後		1	1
	食品保存学	食品加工学	2 前	1		1
	食品製造学	食品加工学実習	2 後	1		1
		小計		2	1	3
D 群 公衆衛生学関係	公衆衛生学	公衆衛生学Ⅰ（基礎）	2 前	1		1
		公衆衛生学Ⅱ（応用）	2 後	1		1
	食品衛生学	食品衛生学	1 後	2		2
		食品衛生学実験	2 後	1		1
	疫学	疫学・保健統計Ⅰ（基礎）	3 前	1		1
		疫学・保健統計Ⅱ（応用）	3 前	1		1
		小計		7	0	7
A 群から D 群の合計で 22 単位以上を履修		合計（A+B+C+D）		23	4	27

別表（栄養学科 2019 年度以降入学生用）

E 群その他の関連科目	病理学	病理学Ⅰ（総論）	1 前	1		1	
		病理学Ⅱ（各論）	1 前	1		1	
	医学概論	疾病論	2 前	2		2	
	解剖学	解剖生理学Ⅰ	1 前	2		2	
		解剖学実験	1 後	1		1	
	栄養化学	基礎栄養学	1 後	2		2	
		基礎栄養学実習	2 前	1		1	
	栄養学	応用栄養学Ⅰ	2 前	2		2	
		応用栄養学Ⅱ	2 後	2		2	
		応用栄養学Ⅲ	3 前	2		2	
	その他これらに 類する食品衛生 に関する科目	食事設計と調理	1 前	2		2	
			2 前	1		1	
			1 後	1		1	
1 前			1		1		
小計			21	0	21		
A 群から E 群を含め 40 単位以上を履修			総計（A+B+C+D+E）		44	4	48

（注）

○ 上表のうち、必修科目のみで法定の必要単位数を上回るため、栄養学科の課程を修了した全ての者は、当該資格を取得することができる。（2019年度以降の入学者に限る。）

○ 「任用資格」とは、特定の職務に従事するために必要な資格である。申請により免許を取得する栄養士及び管理栄養士と異なり、養成施設の課程を修了し、当該職務に任用されることで効力が発生する。

○ 食品衛生監視員及び食品衛生管理者養成施設である他大学から本学栄養学科に転入学した者は、転入元と本学での修得単位を合算し、必要な単位を修得することで資格を取得することができる。

なお、未登録施設から転入学した場合は、食品衛生法及び同法施行規則の規定により、既修得単位を認定することはできないので、上表の資格取得に必要な授業科目は、本学で履修する必要がある。

別表

栄養士課程指定規則との比較表						
教育内容	単位数		授業科目の名称	配当年次	単位数（授業形態別）	
	講義又は 演習	実験又は 実習			講義・ 演習	実験・ 実習
社会生活と健康	4	4	公衆衛生学Ⅰ（基礎）	2	1	
			公衆衛生学Ⅱ（応用）	2	1	
			保健医療福祉論Ⅰ（基礎）	2	1	
			疫学・保健統計Ⅰ（基礎）	3	1	
人体の構造と機能	8		解剖生理学Ⅰ	1	2	
			解剖生理学Ⅱ	1	2	
			生化学	1	2	
			生化学実験	2		1
			疾病論	2	2	
			解剖学実験	1		1
			生理学実験	2		1
食品と衛生	6		食品学各論	1	2	
			食品学実験	1		1
			食品学総論	1	2	
			食品化学実験	1		1
			食品衛生学	1	2	
			食品加工学	2	1	
栄養と健康	8		基礎栄養学	1	2	
			基礎栄養学実習	2		1
			応用栄養学Ⅰ	2	2	
			応用栄養学Ⅱ	2	2	
			応用栄養学実習	3		1
			臨床栄養学Ⅰ	2	2	
			臨床栄養学実習	2		1
栄養の指導	6		栄養教育論Ⅰ	2	2	
			栄養教育論実習	3		1
			栄養教育手法論	3	2	
			公衆栄養学Ⅰ	2	2	
			公衆栄養学実習	3		1
給食の運営	4		食事設計と調理	1	2	
			調理実習	1		1
			給食経営管理論Ⅰ	2	2	
			給食経営管理実習	3		2
			給食経営管理臨地実習	3		2
小計	36	14			37	15
合計	50				52	

管理栄養士に係る必修科目						
管理栄養士学校指定規則（以下この表で「指定規則」という。）による教育内容		指定規則による単位数		授業科目の名称	開設科目の単位数	
		講義 又は 演習	実験 又は 実習		講義 又は 演習	実験 又は 実習
専門基礎分野	社会・環境と健康	6		公衆衛生学Ⅰ（基礎） 公衆衛生学Ⅱ（応用） 保健医療福祉論Ⅰ（基礎） 保健医療福祉論Ⅱ（応用） 疫学・保健統計Ⅰ（基礎） 疫学・保健統計Ⅱ（応用）	1 1 1 1 1 1	
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	14	10	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 生化学 栄養生化学 生化学実験 疾病論 解剖学実験 生理学実験 薬理学Ⅰ（総論） 薬理学Ⅱ（各論） 病理学Ⅰ（総論） 病理学Ⅱ（各論）	2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 1	1 1 1
	食べ物と健康	8		食品学各論 食品学実験 食品学総論 食品化学実験 食品衛生学 食品衛生学実験 食品加工学 食品加工学実習 食事設計と調理 食事設計と調理実習 調理実習 調理科学実験	2 2 2 2 2 1 2 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	計	28	10	計	29	10
専門分野	基礎栄養学	2		基礎栄養学 基礎栄養学実習	2 1	1
	応用栄養学	6		応用栄養学Ⅰ 応用栄養学Ⅱ 応用栄養学Ⅲ 応用栄養学実習	2 2 2 1	
	栄養教育論	6		栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ 栄養教育論実習 栄養教育手法論	2 2 2 2	1
	臨床栄養学	8	8	臨床栄養学Ⅰ 臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学実習 栄養ケアマネジメント論 栄養ケアマネジメント論実習 臨床検査学	2 2 2 2 2 2	1 1
	公衆栄養学	4		公衆栄養学Ⅰ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習	2 2 1	
	給食経営管理論	4		給食経営管理論Ⅰ 給食経営管理論Ⅱ 給食経営管理実習	2 2 2	2
	総合演習	2		事後指導 総合演習	1 1	
	臨地実習		4	臨床栄養臨地実習 給食経営管理臨地実習		2 2
	計	32	12	計	32	12
	合計	60	22	合計	61	22

別表（歯科衛生学科 2019 年度以降入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習			
特色科目	体験ゼミナール	1 前	1					○	45	必修 3 単位	
	千葉県健康づくり	2 後	1				○		30		
	専門職間の連携活動論	4 後	1				○		30		
	社会実習（ボランティア活動）	2・3・4			1			○	45		
一般教養科目	人間理解群	心理学		2		○			30	必修 9 単位 【一般教養科目】選択科目から選択 11 単位	
		哲学		2		○			30		
		文学		2		○			30		
		歴史と文化		2		○			30		
		生命倫理	2			○			30		
		宗教学		2		○			30		
		教育学		2		○			30		
		人間関係論		2		○			30		
		コミュニケーション理論と実際		2		○			30		
		健康スポーツ科学	1				○		30		
		生涯身体運動科学		1			○		30		
	生活と環境群	生活とデザイン		2		○			30		
		法学（日本国憲法）	2			○			30		
		社会学		2		○			30		
		文化人類学		2		○			30		
		経済学		2		○			30		
		国際関係論		2		○			30		
		社会福祉学		1		○			15		
		国際的な健康課題		1		○			15		
		人権・ジェンダー		2		○			30		
		科学論		2		○			30		
		環境変化と生態		2		○			30		
		観察生物学入門		2		○			30		
		生物学	2			○			30		
		物理学		2		○			30		
		化学		2		○			30		
	情報理解群	統計学	1				○		30		
		情報リテラシーⅠ	1				○		30		
		情報リテラシーⅡ		1			○		30		
		情報倫理		1		○			15		
		実践統計学		1		○			15		
	外国語群	英語Ⅰ（講読）		1			○		30	必修 2 単位 ＋ 選択 2 単位	
		英語Ⅱ（英会話）		1			○		30		
		英語Ⅲ（講読・記述）		1			○		30		
		英語Ⅳ（英語コミュニケーション）		1			○		30		
		英語Ⅴ（保健医療英語）	2 前	2		○			30		
		英語Ⅵ（応用英語）	1・2・3・4 後	1			○		30		
		英語Ⅶ（上級英語）A	2・3・4 後	1		○			15		
		英語Ⅶ（上級英語）B	2・3・4 後	1		○			15		

別表（歯科衛生学科 2019 年度以降入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	運動生理学総論		1		○			15	必修 13 単位 + 選択 3 単位
		生化学総論		1		○			15	
		栄養学Ⅰ（基礎）	1 後	1		○			15	
		栄養学Ⅱ（応用）	1 後	1		○			15	
		心の健康	1 後	1		○			15	
		薬理学Ⅰ（総論）	1 後	1		○			15	
		薬理学Ⅱ（各論）	1 後	1		○			15	
		病理学Ⅰ（総論）	1 前	1		○			15	
		病理学Ⅱ（各論）	1 前	1		○			15	
		微生物学Ⅰ（総論）	1 前	1		○			15	
		微生物学Ⅱ（各論）	1 前	1		○			15	
		発達心理学	1 前	1		○			15	
		臨床心理学	1 後	1			○		30	
	健康と保健医療システム	健康論	1 前	1		○			15	
		公衆衛生学Ⅰ（基礎）	2 前	1		○			15	
		公衆衛生学Ⅱ（応用）	2 後	1		○			15	
		疫学・保健統計Ⅰ（基礎）	3 前	1		○			15	
		疫学・保健統計Ⅱ（応用）	3 前	1		○			15	
		リハビリテーション概論	2 後	1		○			15	
		救命・救急の理論と実際	2 前	1		○			15	
		画像診断学	2・3・4 後	1		○			15	
		保健医療福祉論Ⅰ（基礎）	2 後	1		○			15	
		保健医療福祉論Ⅱ（応用）	2 後	1		○			15	
		食育論Ⅰ（基礎）	3 前	1		○			15	
		食育論Ⅱ（応用）	3 前	1		○			15	
		健康と運動	1 後	1		○			15	
		家族社会学	1 前	1		○			15	
		医療経営管理論	4 後	1		○			15	
		リスクマネジメント論	2 後	1		○			15	
専門科目	歯科衛生基礎	解剖学	1 前	2		○			30	必修 27 単位
		生理学	1 後	2		○			30	
		内科学概論	1 後	1		○			15	
		高齢者医療論	2 後	1		○			15	
		口腔解剖学	1 前	2		○			30	
		口腔生理学	2 前	1		○			15	
		口腔病理学	1 後	1		○			15	
		口腔微生物学	1 後	1		○			15	
		歯科薬理学	2 前	1		○			15	
		歯科生化学・臨床検査法	1 後	1		○			15	
		口腔衛生学	1 後	2		○			30	
		歯科診断学	2 後	1		○			15	
		歯科矯正学	3 前	1		○			15	
		歯科材料学	2 前	1		○			15	
		歯科保存学	2 前	2		○			15	

別表（歯科衛生学科 2019 年度以降入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習			
専門科目	歯科衛生基礎	歯周治療学	2 前	1		○			15		
		歯科補綴学	2 前	2		○			30		
		顎口腔外科学	2 前	2		○			30		
		顎口腔機能論	2 前	1		○			15		
		歯科衛生基礎演習	2 前	1			○		30		
	生涯歯科衛生	歯科衛生学概論	1 前	2		○			30	必修 1 9 単位	生涯歯科衛生及び歯科衛生健康推進から選択 2 単位
		歯科医療安全管理論	2 前	1		○			15		
		チーム歯科医療論	2 前	1		○			15		
		歯科疾患予防学	2 後	1		○			15		
		発達歯科衛生学Ⅰ(小児)	2 後	2		○			30		
		発達歯科衛生学Ⅱ(成人・高齢者)	2 後	3		○			45		
		歯科衛生体験演習Ⅰ	1 後	1			○		30		
		歯科衛生体験演習Ⅱ	2 後	1			○		30		
		歯科診療補助演習	3 前	2			○		60		
		歯科予防処置演習	3 前	2			○		60		
		顎口腔機能リハビリテーション論	2 後	1		○			15		
		顎口腔機能リハビリテーション演習	3 前	1			○		30		
		在宅歯科衛生管理論Ⅰ	3 前	1		○			15		
		在宅歯科衛生管理論Ⅱ	4 前		1	○			15		
	歯科衛生健康推進	歯科衛生アセスメント論	3 前	1		○			15	必修 1 1 単位	
		保健行動科学論	1 後	1		○			15		
		歯科保健指導・健康教育論	2 前	1		○			15		
		歯科保健指導演習Ⅰ	2 後	2			○		60		
		歯科保健指導演習Ⅱ	3 前	1			○		30		
		歯科衛生統計演習	3 前	1			○		30		
		地域歯科衛生学	2 前	1		○			15		
		地域歯科衛生演習	3 前	1			○		30		
		衛生行政	2 後	1		○			15		
		国際歯科衛生学	3 前		1	○			15		
		歯科医療管理論	4 前		1	○			15		
		社会保障・社会保険論	3 前	1		○			15		
	臨床・臨地実習	歯科診療室基礎実習	3 前	2				○	90	必修 2 2 単位	
		歯科診療所実習	3 後	4				○	180		
		病院実習	4 後	3				○	135		
		継続・個別支援実習Ⅰ	3 後	2				○	90		
		継続・個別支援実習Ⅱ	4 前	2				○	90		
		発達歯科衛生実習Ⅰ(小児)	4 前	2				○	90		
		発達歯科衛生実習Ⅱ(成人・高齢者)	4 前	2				○	90		
		地域歯科衛生実習	4 前	1				○	45		
		歯科診療室総合実習Ⅰ	3 後	2				○	90		
		歯科診療室総合実習Ⅱ	4 前	2				○	90		
	研究	卒業研究	3 後～4 通	2				○	60	必修 2 単位	

別表（歯科衛生学科 2019 年度以降入学生用）

先修条件

【特色科目】

- 1 「千葉県の健康づくり」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。
- 2 「社会実習（ボランティア活動）」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。

【一般教養科目】

- 1 「実践統計学」を履修するには「統計学」の単位を修得済みであること。
- 2 「英語Ⅶ（上級英語）A」、「英語Ⅶ（上級英語）B」を履修するには「英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、またはⅥ」の選択2科目の単位（2単位）を修得済みであること。

【専門科目】

- 1 歯科衛生基礎演習を履修するには、口腔微生物学、口腔衛生学の単位を修得済みであること。
- 2 歯科保健指導演習Ⅰを履修するには、保健行動科学論、歯科保健指導・健康教育論の単位を修得済みであること。
- 3 歯科保健指導演習Ⅱを履修するには、歯科衛生アセスメント論の単位を修得済みであること。
- 4 歯科診療室基礎実習を履修するには、歯科診療補助演習の単位を修得済みであること。
- 5 歯科診療室基礎実習及び病院実習を除く臨床・臨地実習を履修するには、保健医療基礎科目及び専門科目のうち、3年次前期までに配当されているすべての必修科目の単位を修得済みであること。
- 6 病院実習を履修するには、3年次後期までに配当されているすべての必修科目の単位を修得済みで、4年次前期に配当されているすべての必修科目の単位を修得済みであること。
- 7 卒業研究を履修するには、原則として3年次前期までに配当されているすべての必修科目の単位を修得済みであること。

進級要件

以下の要件を満たした者でなければ、3年次に進級できない。

- 1 1・2年次に配当された特色科目および保健医療基礎科目の必修科目の単位を修得済みの者。
- 2 1・2年次に配当された専門科目のうち、専門基礎科目、歯科衛生基礎科目の単位を修得済みの者。

卒業要件

科目区分	必修科目	選択科目	合 計
特色科目	3 単位	0 単位	3 単位
一般教養科目	11 単位	13 単位	24 単位
保健医療基礎科目	13 単位	3 単位	16 単位
専門科目	81 単位	2 単位	83 単位
合 計	108 単位	18 単位	126 単位

別表（リハビリテーション学科理学療法学専攻 2019 年度以降入学生用）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習			
特色科目		体験ゼミナール	1 前	1					○	45	必修 3 単位	
		千葉県の健康づくり	2 後	1				○		30		
		専門職間の連携活動論	4 後	1				○		30		
		社会実習（ボランティア活動）	2・3・4			1			○	45		
一般教養科目	人間理解群	心理学	1・2・3・4 前		2		○			30	必修 4 単位	一般教養科目から選択 12 単位
		哲学	1・2・3・4 前		2		○			30		
		文学	1・2・3・4 前		2		○			30		
		歴史と文化	1・2・3・4 前		2		○			30		
		生命倫理	1・2・3・4 後		2		○			30		
		宗教学	1・2・3・4 後		2		○			30		
		教育学	1・2・3・4 前		2		○			30		
		人間関係論	1・2・3・4 前	2			○			30		
		コミュニケーション理論と実際	1・2・3・4 前	2			○			30		
		健康スポーツ科学	1・2・3・4 前後		1			○		30		
		生涯身体運動科学	1・2・3・4 前後		1			○		30		
	生活と環境群	生活とデザイン	1・2・3・4 後		2		○			30	必修 2 単位	
		法学（日本国憲法）	1・2・3・4 前		2		○			30		
		社会学	1・2・3・4 後		2		○			30		
		文化人類学	1・2・3・4 前		2		○			30		
		経済学	1・2・3・4 前		2		○			30		
		国際関係論	1・2・3・4 後		2		○			30		
		社会福祉学	1・2・3・4 前		1		○			15		
		国際的な健康課題	1・2・3・4 後		1		○			15		
		人権・ジェンダー	1・2・3・4 後		2		○			30		
		科学論	1・2・3・4 前		2		○			30		
		環境変化と生態	1・2・3・4 後		2		○			30		
		観察生物学入門	1・2・3・4 前後		2		○			30		
		生物学	1・2・3・4 前後		2		○			30		
		物理学	1・2・3・4 前	2			○			30		
		化学	1・2・3・4 前		2		○			30		
	情報理解群	統計学	1・2・3・4 後		1			○		30	必修 2 単位	
		情報リテラシーⅠ	1・2・3・4 前	1				○		30		
		情報リテラシーⅡ	1・2・3・4 後		1			○		30		
		情報倫理	1・2・3・4 後	1			○			15		
		実践統計学	1・2・3・4 後		1		○			15		
	外国語群	英語Ⅰ（講読）	1・2・3・4 前		1			○		30	必修 2 単位 + 選択 2 単位	
		英語Ⅱ（英会話）	1・2・3・4 前		1			○		30		
		英語Ⅲ（講読・記述）	1・2・3・4 後		1			○		30		
		英語Ⅳ（英語コミュニケーション）	1・2・3・4 後		1			○		30		
		英語Ⅴ（保健医療英語）	1・2・3・4 前	2			○			30		
英語Ⅵ（応用英語）		1・2・3・4 後		1			○		30			
英語Ⅶ（上級英語）A		2・3・4 後		1		○			15			
英語Ⅶ（上級英語）B		2・3・4 後		1		○			15			

別表（リハビリテーション学科理学療法学専攻 2019 年度以降入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	運動生理学総論		1		○			15	必修 10 単位 ＋ 選択 2 単位
		生化学総論		1		○			15	
		栄養学Ⅰ（基礎）	1			○			15	
		栄養学Ⅱ（応用）		1		○			15	
		心の健康		1		○			15	
		薬理学Ⅰ（総論）		1		○			15	
		薬理学Ⅱ（各論）		1		○			15	
		病理学Ⅰ（総論）	1			○			15	
		病理学Ⅱ（各論）		1		○			15	
		微生物学Ⅰ（総論）	1			○			15	
		微生物学Ⅱ（各論）		1		○			15	
		発達心理学		1		○			15	
		臨床心理学	1				○		30	
	健康と保健医療システム	健康論		1		○			15	
		公衆衛生学Ⅰ（基礎）	1			○			15	
		公衆衛生学Ⅱ（応用）		1		○			15	
		疫学・保健統計Ⅰ（基礎）		1		○			15	
		疫学・保健統計Ⅱ（応用）		1		○			15	
		リハビリテーション概論	1			○			15	
		救命・救急の理論と実際	1			○			15	
		画像診断学	1			○			15	
		保健医療福祉論Ⅰ（基礎）	1			○			15	
		保健医療福祉論Ⅱ（応用）		1		○			15	
		食育論Ⅰ（基礎）		1		○			15	
		食育論Ⅱ（応用）		1		○			15	
		健康と運動		1		○			15	
		家族社会学		1		○			15	
		医療経営管理論		1		○			15	
		リスクマネジメント論	1			○			15	
専門科目	リハビリテーション専門基礎科目	人体の構造Ⅰ（筋・骨・神経系の構造）	1				○		30	必修 25 単位 ＋ 選択 1 単位
		人体の構造Ⅱ（脈管・内臓・感覚器の構造）	1				○		30	
		人体の構造実習	1					○	45	
		人体の機能Ⅰ（動物性機能）	1				○		30	
		人体の機能Ⅱ（植物性機能）	1				○		30	
		人体の機能実習	2					○	45	
		運動学Ⅰ（運動の基礎科学）	1				○		30	
		運動学Ⅱ（応用的運動科学）	2				○		30	
		運動学実習	2					○	45	
		臨床運動学	2				○		30	
		機能解剖学	1				○		30	
		人間工学		1			○		30	
		人間発達学	2				○		30	
		医学総論	1			○			15	
		内科学総論	2				○		30	
		内科学各論	2				○		30	
		神経内科学総論	2				○		30	
		神経内科学各論	2				○		30	
		整形外科総論	2				○		30	

別表（リハビリテーション学科理学療法学専攻 2019 年度以降入学生用）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習			
		整形外科学各論	2 後	1	1		○	○		30		
		精神神経科学総論	2 前	1				○		30		
		精神神経科学各論	2 後					○		30		
		臨床薬理学	2 後	1						15		
		老年科学	3 前	1				○		30		
		小児科学	3 前	1				○		30		
		臨床医学概論	3 前	1				○		30		
		リハビリテーション医学	3 前	1				○		30		
	理学療法専門基礎科目	理学療法概論	1 前	1			○	○		30	必修 2 0 単位	
		理学療法管理学	4 後	2						○		30
		運動療法学	2 前	2						○		30
		理学療法評価学Ⅰ	2 前	2						○		30
		理学療法評価学演習	2 前	1						○		30
		理学療法評価学Ⅱ(神経系)	2 後	1						○		15
		理学療法評価学Ⅲ(統合・解釈)	2 後	1						○		30
		理学療法評価学Ⅳ(画像評価)	3 後	1						○		15
		日常生活活動学	2 前	2						○		30
		日常生活活動学演習	2 後	1						○		30
		物理療法学	2 後	1						○		15
		物理療法学演習	2 後	1						○		30
		義肢装具学	3 前	2						○		30
		義肢装具学演習	3 前	1						○		30
		理学療法研究方法論	3 前	1						○		30
	専門科目	運動器障害理学療法学	3 前	2			○	○		30	必修 2 2 単位 ＋ 選択 1 単位	
		運動器障害理学療法学演習	3 後	1						○		30
		神経系障害理学療法学	3 前	2						○		30
		神経系障害理学療法学演習	3 後	1						○		30
		内部障害理学療法学	3 前	2						○		30
		内部障害理学療法学演習	3 後	1						○		30
		老年期障害理学療法学	3 前	2						○		30
		老年期障害理学療法学演習	3 後	1						○		30
		発達障害理学療法学	3 前	2						○		30
		発達障害理学療法学演習	3 後	1						○		30
		発達障害理学療法学特論	3 後	1						○		15
		地域理学療法学	3 前	2						○		30
		地域理学療法学演習	3 後	1						○		30
		理学療法技術論	4 後	1						○		30
		生体機能計測学	3 前	1						○		30
		理学療法応用評価学	3 後	1						○		30
		理学療法学特論Ⅰ(運動器・老年期)	3 後	1						○		30
		理学療法学特論Ⅱ(神経系・内部・地域)	3 後	1						○		30
		発展領域論(がん・予防・臨床研究解析法)	4 後	2						○		30

別表（リハビリテーション学科理学療法学専攻 2019 年度以降入学生用）

	臨床実習	臨床体験実習	1 後	1				○	45	必修 20 単位
		評価実習	3 後	4				○	180	
		総合実習Ⅰ	4 前	7				○	315	
		総合実習Ⅱ	4 前	7				○	315	
		地域理学療法学実習	4 後	1				○	45	
	研究	卒業研究	4 通	2				○	60	必修 2 単位

先修条件

【特色科目】

- 1 「千葉県の健康づくり」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。
- 2 「社会実習（ボランティア活動）」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。

【一般教養科目】

- 1 「実践統計学」を履修するには「統計学」の単位を修得済みであること。
- 2 「英語Ⅶ(上級英語)A」「英語Ⅶ(上級英語)B」を履修するには「英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、またはⅥ」の選択 2 単位を修得済みであること。

【専門科目】

- 1 2 年次配当の「リハビリテーション専門基礎科目」「理学療法専門基礎科目」を履修するには、1 年次配当の「リハビリテーション専門基礎科目」および「理学療法概論」の単位を修得済みであること。
- 2 「評価実習」を履修するには、3 学年前期までに開講するすべての必修科目の単位を修得済みであること。
- 3 「総合実習Ⅰ」、「総合実習Ⅱ」、「地域理学療法学実習」および「卒業研究」を履修するには、3 学年後期までに開講するすべての必修科目の単位を修得済みであること。

進級要件

以下の要件を満たした者でなければ、3 年次に進級できない。

- 1 1・2 年次に配当された特色科目および保健医療基礎科目の必修科目の単位を修得済みの者。
- 2 1・2 年次に配当された専門科目の必修科目の単位を修得済みの者。

卒業要件

科目区分	必修科目	選択科目	合 計
特色科目	3 単位	0 単位	3 単位
一般教養科目	10 単位	14 単位	24 単位
保健医療基礎科目	10 単位	2 単位	12 単位
専門科目	89 単位	2 単位	91 単位
合 計	112 単位	18 単位	130 単位

別表（リハビリテーション学科作業療法学専攻 2019 年度以降入学生用）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習			
特色科目		体験ゼミナール	1 前	1					○	45	必修 3 単位	
		千葉県の健康づくり	2 後	1				○		30		
		専門職間の連携活動論	4 後	1				○		30		
		社会実習（ボランティア活動）	2・3・4			1			○	45		
一般教養科目	人間理解群	心理学	1・2・3・4 前	2			○			30	必修 2 単位 ＋ 選択 2 単位 (※4)	【一般教養科目】 選択科目から選択 12 単位
		哲学	1・2・3・4 前		2		○			30		
		文学	1・2・3・4 前		2		○			30		
		歴史と文化	1・2・3・4 前		2		○			30		
		生命倫理	1・2・3・4 後		2		○			30		
		宗教学	1・2・3・4 後		2		○			30		
		教育学	1・2・3・4 前		2		○			30		
		人間関係論	1・2・3・4 前		2		○			30		
		コミュニケーション理論と実際	1・2・3・4 前		2		○			30		
		健康スポーツ科学	1・2・3・4 前後		1			○		30		
		生涯身体運動科学	1・2・3・4 前後		1			○		30		
	生活と環境群	生活とデザイン	1・2・3・4 後		2		○			30	必修 2 単位	
		法学（日本国憲法）	1・2・3・4 前		2		○			30		
		社会学	1・2・3・4 後		2		○			30		
		文化人類学	1・2・3・4 前		2		○			30		
		経済学	1・2・3・4 前		2		○			30		
		国際関係論	1・2・3・4 後		2		○			30		
		社会福祉学	1・2・3・4 前		1		○			15		
		国際的な健康課題	1・2・3・4 後		1		○			15		
		人権・ジェンダー	1・2・3・4 後		2		○			30		
		科学論	1・2・3・4 前		2		○			30		
		環境変化と生態	1・2・3・4 後		2		○			30		
		観察生物学入門	1・2・3・4 前後		2		○			30		
		生物学	1・2・3・4 前後		2		○			30		
		物理学	1・2・3・4 前	2			○			30		
		化学	1・2・3・4 前		2		○			30		
	情報理解群	統計学	1 後	1				○		30	必修 2 単位	
		情報リテラシーⅠ	1 前	1				○		30		
		情報リテラシーⅡ	1・2・3・4 後		1			○		30		
		情報倫理	1・2・3・4 後		1		○			15		
		実践統計学	2・3・4 後		1		○			15		
	外国語群	英語Ⅰ(講読)	1・2・3・4 前		1			○		30	必修 2 単位 ＋ 選択 2 単位	
		英語Ⅱ(英会話)	1・2・3・4 前		1			○		30		
		英語Ⅲ(講読・記述)	1・2・3・4 後		1			○		30		
		英語Ⅳ(英語コミュニケーション)	1・2・3・4 後		1			○		30		
		英語Ⅴ(保健医療英語)	2 前	2			○			30		
		英語Ⅵ(応用英語)	1・2・3・4 後		1			○		30		
		英語Ⅶ(上級英語)A	2・3・4 後		1		○			15		
		英語Ⅶ(上級英語)B	2・3・4 後		1		○			15		

別表（リハビリテーション学科作業療法学専攻 2019年度以降入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	運動生理学総論		1		○			15	必修9単位 + 選択1単位
		生化学総論		1		○			15	
		栄養学Ⅰ（基礎）	1			○			15	
		栄養学Ⅱ（応用）		1		○			15	
		心の健康		1		○			15	
		薬理学Ⅰ（総論）		1		○			15	
		薬理学Ⅱ（各論）		1		○			15	
		病理学Ⅰ（総論）	1			○			15	
		病理学Ⅱ（各論）		1		○			15	
		微生物学Ⅰ（総論）		1		○			15	
		微生物学Ⅱ（各論）		1		○			15	
		発達心理学		1		○			15	
		臨床心理学	1				○		30	
	健康と保健医療システム	健康論	1			○			15	
		公衆衛生学Ⅰ（基礎）		1		○			15	
		公衆衛生学Ⅱ（応用）		1		○			15	
		疫学・保健統計Ⅰ（基礎）		1		○			15	
		疫学・保健統計Ⅱ（応用）		1		○			15	
		リハビリテーション概論	1			○			15	
		救命・救急の理論と実際	1			○			15	
		画像診断学	1			○			15	
		保健医療福祉論Ⅰ（基礎）	1			○			15	
		保健医療福祉論Ⅱ（応用）	1			○			15	
		食育論Ⅰ（基礎）		1		○			15	
		食育論Ⅱ（応用）		1		○			15	
		健康と運動		1		○			15	
		家族社会学		1		○			15	
		医療経営管理論		1		○			15	
		リスクマネジメント論		1		○			15	
専門科目	リハビリテーション専門基礎科目	人体の構造Ⅰ（筋・骨・神経系の構造）	1				○		30	必修26単位 + 選択1単位
		人体の構造Ⅱ（脈管・内臓・感覚器の構造）	1				○		30	
		人体の構造実習	1					○	45	
		人体の機能Ⅰ（動物性機能）	1				○		30	
		人体の機能Ⅱ（植物性機能）	1				○		30	
		人体の機能実習	2					○	45	
		体表解剖学	1			○			15	
		作業運動学Ⅰ（作業運動の基礎）	1				○		30	
		作業運動学Ⅱ（作業運動の応用）	2				○		30	
		作業運動学演習	2				○		30	
		作業運動学実習	2					○	45	
		作業分析学	2		1	○			15	
		人間工学	2		1		○		30	
		人間発達学	2		1		○		30	
		医学総論	1			○			15	
		内科学総論	2				○		30	
		内科学各論	2				○		30	
		神経内科学総論	2				○		30	
		神経内科学各論	2				○		30	

別表（リハビリテーション学科作業療法学専攻 2019 年度以降入学生用）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
	整形外科学総論	2 前	1				○		30	
	整形外科学各論	2 後	1				○		30	
	精神神経科学総論	2 前	1				○		30	
	精神神経科学各論	2 後	1				○		30	
	臨床薬理学	2 後	1			○			15	
	老年科学	3 前	1				○		30	
	小児科学	3 前	1				○		30	
	臨床医学概論	3 前	1				○		30	
	リハビリテーション医学	3 前	1				○		30	
専門科目	基礎作業療法学	作業療法概論	1 前	1			○		30	必修 6 単位 ＋ 選択 2 単位
	基礎作業療法学	作業療法管理学	3 後	2		○			30	
	基礎作業療法学	作業療法基礎理論	2 前	1			○		30	
	基礎作業療法学	作業療法研究法	3 前	1		○			15	
	基礎作業療法学	基礎作業学・演習	1 前	1			○		30	
	基礎作業療法学	基礎作業学実習	1 後	1				○	45	
	基礎作業療法学	作業療法ゼミナール A	2 前	1		○			15	
	基礎作業療法学	作業療法ゼミナール B	2 前	1		○			15	
	基礎作業療法学	作業療法ゼミナール C	2 前	1		○			15	
	基礎作業療法学	作業療法ゼミナール D	2 前	1		○			15	
	基礎作業療法学	作業療法ゼミナール E	2 前	1		○			15	
	基礎作業療法学	作業療法ゼミナール F	2 前	1		○			15	
	実践作業療法学	作業療法評価学総論	1 後	1		○			15	必修 29 単位
	実践作業療法学	身体作業療法評価学	2 前	1		○			15	
	実践作業療法学	身体作業療法評価学実習	2 通	1				○	45	
	実践作業療法学	身体作業療法学Ⅰ	2 後	2		○			30	
	実践作業療法学	身体作業療法学Ⅱ	2 後	2		○			30	
	実践作業療法学	身体作業療法学演習	3 前	1			○		30	
	実践作業療法学	精神作業療法評価学	2 前	1		○			15	
	実践作業療法学	精神作業療法評価学実習	2 通	1				○	45	
	実践作業療法学	精神作業療法学	2 後	2		○			30	
	実践作業療法学	精神作業療法学演習	3 前	1			○		30	
	実践作業療法学	発達期作業療法学	2 後	1		○			15	
	実践作業療法学	発達期作業療法学演習	3 前	1			○		30	
	実践作業療法学	老年期作業療法学	2 後	1		○			15	
	実践作業療法学	老年期作業療法学演習	3 前	1			○		30	
	実践作業療法学	高次神経機能作業療法学	2 後	2		○			30	
	実践作業療法学	日常生活活動学	2 後	1		○			15	
	実践作業療法学	日常生活活動学演習	3 前	1			○		30	
	実践作業療法学	義肢装具学	3 前	2		○			30	
	実践作業療法学	福祉機器論	3 後	2		○			30	
	実践作業療法学	地域社会参加支援学	3 前	1		○			15	
	実践作業療法学	地域社会参加支援学演習	3 後	1			○		30	
	実践作業療法学	地域作業療法学	3 前	2		○			30	
	実践作業療法学	作業療法総合演習	4 通	1			○		30	
	実践作業療法学	作業療法学特論 A	4 通	1		○			15	

別表（リハビリテーション学科作業療法学専攻 2019 年度以降入学生用）

		作業療法学特論 B	4 通		1		○		15	
		作業療法学特論 C	4 通		1		○		15	
		作業療法学特論 D	4 通		1		○		15	
		作業療法学特論 E	4 通		1		○		15	
		作業療法学特論 F	4 通		1		○		15	
	臨床実習	臨床体験実習	1 通	1				○	45	必修 28 単位
		評価実習 I	3 通	4				○	180	
		評価実習 II	3 通	4				○	180	
		総合実習 I	3 後	8				○	360	
		総合実習 II	4 前	8				○	360	
		地域作業療法学実習	4 後	3				○	135	
	研究	卒業研究	4 通	1				○	30	必修 1 単位

※4 人間理解群における選択科目の履修方法について

「人間関係論」又は「コミュニケーション理論と実際」のどちらか 1 つは必ず選択して履修する。

先修条件

【特色科目】

- 1 「千葉県の健康づくり」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。
- 2 「社会実習（ボランティア活動）」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。

【一般教養科目】

- 1 「実践統計学」を履修するには「統計学」の単位を修得済みであること。
- 2 「英語Ⅶ(上級英語)A」「英語Ⅶ(上級英語)B」を履修するには「英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、またはⅥ」の選択 2 単位を修得済みであること。

【専門科目】

- 1 「総合実習Ⅰ」および「総合実習Ⅱ」を履修するには、「評価実習Ⅰ」および「評価実習Ⅱ」の両科目の単位を修得済みであること。

進級要件

以下の要件を満たさなければ、3 年次に進級できない。

- 1 1・2 年次に配当された特色科目および保健医療基礎科目の必修科目のすべての単位を修得済みであること。
- 2 1・2 年次に配当された専門科目の必修科目のすべての単位を修得済みであること。

卒業要件

科目区分	必修科目	選択科目	合 計
特色科目	3 単位	0 単位	3 単位
一般教養科目	8 単位	1 6 単位	2 4 単位
保健医療基礎科目	9 単位	1 単位	1 0 単位
専門科目	9 0 単位	3 単位	9 3 単位
合 計	1 1 0 単位	2 0 単位	1 3 0 単位

(リハビリテーション学科作業療法学専攻 2018年度以前入学者用)

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習			
特色科目		千葉県の健康づくり	2 後	1				○		30	必修 3 単位	
		体験ゼミナール	1 前	1				○		45		
		専門職間の連携活動論	4 後	1				○		30		
一般教養科目	人間理解群	心理学	1・2・3・4 前	2			○			30	必修 2 単位 ＋ 選択 2 単位 (※4)	
		哲学	1・2・3・4 前		2		○			30		
		文学	1・2・3・4 前		2		○			30		
		歴史と文化	1・2・3・4 前		2		○			30		
		生命倫理	1・2・3・4 後		2		○			30		
		宗教学	1・2・3・4 後		2		○			30		
		教育学	1・2・3・4 前		2		○			30		
		人間関係論	1・2・3・4 前		2		○			30		
		コミュニケーション理論と実際	1・2・3・4 前		2		○			30		
		健康スポーツ科学	1・2・3・4 前後		1			○		30		
	生涯身体運動科学	1・2・3・4 前後		1			○		30			
	生活と環境群	生活とデザイン	1・2・3・4 後		2		○			30	必修 2 単位	
		法学（日本国憲法）	1・2・3・4 前		2		○			30		
		社会学	1・2・3・4 後		2		○			30		
		文化人類学	1・2・3・4 前		2		○			30		
		経済学	1・2・3・4 前		2		○			30		
		国際関係論	1・2・3・4 後		2		○			30		
		社会福祉学	1・2・3・4 前		1		○			15		
		国際的な健康課題	1・2・3・4 後		1		○			15		
		人権・ジェンダー	1・2・3・4 後		2		○			30		
		科学論	1・2・3・4 前		2		○			30		
		環境変化と生態	1・2・3・4 後		2		○			30		
		観察生物学入門	1・2・3・4 前後		2		○			30		
		生物学	1・2・3・4 前後		2		○			30		
		物理学	1・2・3・4 前	2			○			30		
		化学	1・2・3・4 前		2		○			30		
	情報理解群	統計学	1・2・3・4 後	1				○		30	必修 2 単位	
		情報リテラシーⅠ	1 前	1				○		30		
		情報リテラシーⅡ	1・2・3・4 後		1			○		30		
		情報倫理	1・2・3・4 後		1		○			15		
	外国語群	英語Ⅰ（基礎講読）	1・2・3・4 前		1			○		30	必修 2 単位 ＋ 選択 2 単位	
		英語Ⅱ（基礎英会話）	1・2・3・4 前		1			○		30		
		英語Ⅲ（講読・記述）	1・2・3・4 後		1			○		30		
		英語Ⅳ(英会話)	1・2・3・4 後		1			○		30		
		英語Ⅴ(保健医療英語)	2 前	2			○			30		
		英語Ⅵ(応用英語)	1・2・3・4 後		1			○		30		

【一般教養科目】選択科目から選択
1 2 単位

※4 人間理解群における選択科目の履修方法について

「人間関係論」又は「コミュニケーション理論と実際」のどちらかを選択して履修する。

(リハビリテーション学科作業療法学専攻 2018 年度以前入学者用)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
保健医療基礎科目	人間のこころと身体	運動生理学総論	2 前	1		○			15	必修 6 単位 + 選択 1 単位
		生化学総論	1 前	1		○			15	
		栄養学Ⅰ（基礎）	1 後	1		○			15	
		栄養学Ⅱ（応用）	1 後	1		○			15	
		心の健康	1 後	1		○			15	
		薬理学Ⅰ（総論）	1 後	1		○			15	
		薬理学Ⅱ（各論）	1 後	1		○			15	
		病理学Ⅰ（総論）	1 前	1		○			15	
		病理学Ⅱ（各論）	1 前	1		○			15	
		微生物学Ⅰ（総論）	1 前	1		○			15	
		微生物学Ⅱ（各論）	1 前	1		○			15	
		発達心理学	1 前	1		○			15	
		臨床心理学	1 後	1			○		30	
	健康と保健医療システム	健康論	1 前	1		○			15	
		公衆衛生学Ⅰ（基礎）	2 前	1		○			15	
		公衆衛生学Ⅱ（応用）	2 後	1		○			15	
		疫学・保健統計Ⅰ（基礎）	3 前	1		○			15	
		疫学・保健統計Ⅱ（応用）	3 前	1		○			15	
		リハビリテーション概論	1 後	1		○			15	
		救命・救急の理論と実際	2 前	1		○			15	
		保健医療福祉論Ⅰ（基礎）	2 後	1		○			15	
		保健医療福祉論Ⅱ（応用）	2 後	1		○			15	
		食育論Ⅰ（基礎）	3 前	1		○			15	
		食育論Ⅱ（応用）	3 前	1		○			15	
		健康と運動	1 後	1		○			15	
		家族社会学	1 前	1		○			15	
		医療経営管理論	4 後	1		○			15	
		リスクマネジメント論	2 後	1		○			15	
専門科目	リハビリテーション専門基礎科目	人体の構造Ⅰ（筋・骨・神経系の構造）	1 前	1			○		30	必修 24 単位 + 選択 1 単位
		人体の構造Ⅱ（脈管・内臓・感覚器の構造）	1 後	1			○		30	
		人体の構造実習	1 後	1				○	45	
		機能解剖学	1 後	1			○		30	
		人体の機能Ⅰ（動物性功能）	1 前	1			○		30	
		人体の機能Ⅱ（植物性功能）	1 後	1			○		30	
		人体の機能実習	2 前	1				○	45	
		作業運動学Ⅰ（作業運動の基礎）	1 後	1			○		30	
		作業運動学Ⅱ（作業運動の応用）	2 前	1			○		30	
		作業運動学実習	2 後	1				○	45	
		作業運動分析学	2 前	1		○			15	
		臨床運動学	2 前	1			○		30	
		人間工学	2 後	1			○		30	
		人間発達学	2 前	1			○		30	
		医学総論	1 後	1		○			15	
		内科学総論	2 前	1			○		30	
		内科学各論	2 後	1			○		30	
		神経内科学総論	2 前	1			○		30	
		神経内科学各論	2 後	1			○		30	

(リハビリテーション学科作業療法学専攻 2018年度以前入学者用)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			時間数	履修方法等
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
専門科目	専門基礎科目	整形外科学総論	2 前	1			○		30	
		整形外科学各論	2 後	1			○		30	
		精神神経科学総論	2 前	1			○		30	
		精神神経科学各論	2 後	1			○		30	
		老年科学	3 前	1			○		30	
		小児科学	3 前	1			○		30	
		臨床医学概論	3 前	1			○		30	
		リハビリテーション医学	3 前	1			○		30	
	基礎作業療法学	作業療法概論	1 前	2		○			30	必修7単位 + 選択1単位
		作業療法管理学	3 後	1		○			15	
		作業療法基礎理論	2 前	1			○		30	
		作業療法研究法	3 後	1		○			15	
		基礎作業学・演習	1 前	1			○		30	
		基礎作業学実習	1 後	1				○	45	
		作業療法評価学概論	1 後	1		○			15	
		地域作業療法学概論	3 前	1		○			15	
	実践作業療法学	作業療法評価学Ⅰ（神経・心肺機能系）	2 前	2		○			30	必修32単位
		作業療法治療学Ⅰ（神経・心肺機能系）	2 後	2		○			30	
		作業療法学Ⅰ演習（神経・心肺機能系）	3 前	1			○		30	
		作業療法評価学Ⅱ（廃用・運動機能系）	2 前	2		○			30	
		作業療法治療学Ⅱ（廃用・運動機能系）	2 後	2		○			30	
		作業療法学Ⅱ演習（廃用・運動機能系）	3 前	1			○		30	
		作業療法評価学Ⅲ（精神・心理機能系）	2 前	2		○			30	
		作業療法治療学Ⅲ（精神・心理機能系）	2 後	2		○			30	
		作業療法学Ⅲ演習（精神・心理機能系）	3 前	1			○		30	
		作業療法評価学Ⅳ（認知・知能機能系）	2 前	2		○			30	
		作業療法治療学Ⅳ（認知・知能機能系）	2 後	2		○			30	
		作業療法学Ⅳ演習（認知・知能機能系）	3 前	1			○		30	
		日常生活活動技術学	3 前	2		○			30	
		日常生活活動技術学演習	3 後	1			○		30	
		日常生活活動援助学	3 前	2		○			30	
		日常生活活動援助学演習	3 後	1			○		30	
		社会的適応支援評価学	2 後	2		○			30	
		社会的適応支援学	3 前	2		○			30	
		社会的適応支援学演習	3 後	1			○		30	
		作業療法セミナー	3 前～4 前	1			○		30	
	臨床実習	臨床体験実習	1 通	1				○	45	必修27単位
		評価実習Ⅰ	3 通	3				○	135	
		評価実習Ⅱ	3 通	3				○	135	
		総合実習Ⅰ	4 通	8				○	360	
		総合実習Ⅱ	4 通	8				○	360	
		地域作業療法学実習	4 通	3				○	135	
	研究	卒業研究	4 通	1			○		30	

卒業要件

科目区分	必修科目	選択科目	合 計
特色科目	3単位	0単位	3単位
一般教養科目	8単位	16単位	24単位
保健医療基礎科目	6単位	1単位	7単位
専門科目	90単位	2単位	92単位
合 計	107単位	19単位	126単位

先修条件

【特色科目（平成28年度入学生より適用する）】

- 1) 「千葉県健康づくり」を履修するには「体験ゼミナール」の単位を修得済みであること。
- 2) 「専門職間の連携活動論」を履修するには「体験ゼミナール」、「千葉県健康づくり」の両単位を修得済みであること。

【専門科目】

- 1) 「総合実習Ⅰ」および「総合実習Ⅱ」を履修するには、すでに「評価実習Ⅰ」および「評価実習Ⅱ」の両科目の単位を修得していること。

他学科等授業科目履修申請書

年 月 日

千葉県立保健医療大学長 様

学 科 ・ 専 攻 名 _____
学 籍 番 号 _____
氏 名 _____ 印

下記のとおり他学科等の授業科目を履修したいので申請します。

記

1 授 業 科 目 名

2 担当教員所見

.....
.....
.....

3 担当教員氏名

_____ 印

(注) 1 「氏名」欄は学生本人が、「担当教員氏名」欄は担当教員本人が、それぞれ自署するか又は記名の上押印すること。

2 「担当教員所見」欄は、担当教員本人が施設設備上の支障がなく、かつ、教育研究上有益と判断の上承諾した旨等を記入すること。

欠 席 届

年 月 日

様

学 科 ・ 専 攻 名 _____
学 籍 番 号 _____
氏 名 _____ 印

下記のとおり授業を欠席（ した ・ したい ）ので届け出ます。

記

1 授 業 科 目 名

2 年 月 日 ・ 時 限

年 月 日 () 第 時 限

3 欠 席 理 由

.....
.....
.....
.....
.....

- (注) 1 「氏名」欄は学生本人が自署するか又は記名の上押印すること。
2 「(した・したい)」は、該当項目を○で囲むこと。
3 「欠席理由」欄は、やむを得ず欠席した又は欠席したい理由について、具体的に記入すること。
4 成績評価における本届出の取扱いは、すべて担当教員の判断によるものであること。

追 試 験 願

年 月 日

千葉県立保健医療大学長 様

学 科 ・ 専 攻 名 _____
学 籍 番 号 _____
氏 名 _____ 印

下記のとおり追試験を受けたいので願い出ます。

記

1 授業科目名

(担当教員名 : _____)

2 試験を受けられなかった理由

.....
.....
.....
.....
.....

(注) 1 「氏名」欄は学生本人が自署するか又は記名の上押印すること。

2 「試験を受けられなかった理由」欄は、やむを得ず試験を受けられなかった理由について、具体的に記入すること。

3 病気又はけがを理由とする場合は医師の診断書を、その他の理由の場合はその理由を証する書類を添付すること。